

**尾鷲市まちづくりに関するアンケート調査
結果報告書**

平成 27 年 9 月

【目次】

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	2
2. 調査概要	2
3. 報告書の見方	2
II. 調査の結果	3
1. 回答者について	4
2. 本市での生活について	7
3. これからのまちづくりについて	14
4. 暮らしの満足度と今後の重要度について	46
III. 調査票	57

I. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は「第6次尾鷲市総合計画」の進行管理にあたり、市民の皆様のご意見を反映すべく、またこれからのまちづくりに関してどう考えているのかを把握するため、毎年アンケート調査を実施しているものです。

2. 調査概要

調査区域 : 尾鷲市全域
調査対象 : 18歳以上の市民から1,000人を無作為抽出
調査時期 : 平成27年4月
配布数 : 1,000票
回収数 : 328票
回収率 : 32.8%

3. 報告書の見方

回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。

複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

図表中において、「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。

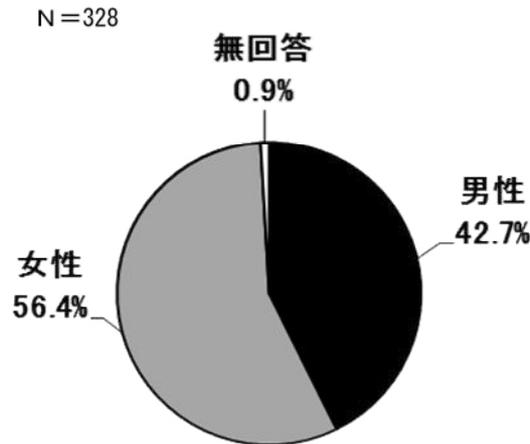
グラフ及び表の「N数 (number of case)」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。

II. 調査の結果

1. 回答者について

問1 あなたの性別をお聞かせください。

回答者の性別は、「女性」が56.4%、「男性」が42.7%、無回答が0.9%となっています。

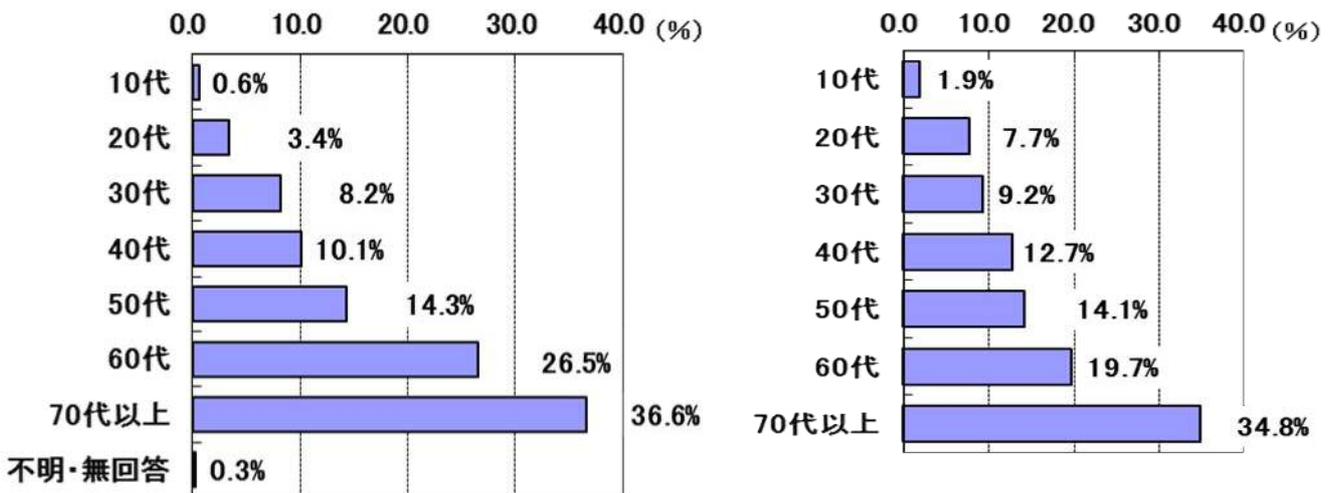


問2 あなたの年齢をお聞かせください。

回答者の年齢は、「60代」が26.5%、「70代以上」が36.6%と、60代以上が6割を占めています。住民基本台帳の人口割合と比較すると、「50代」「60代」「70代以上」で実際の割合より高く、その他の年代では低くなっています。

N=328

(参考)：住民基本台帳平成27年3月末現在



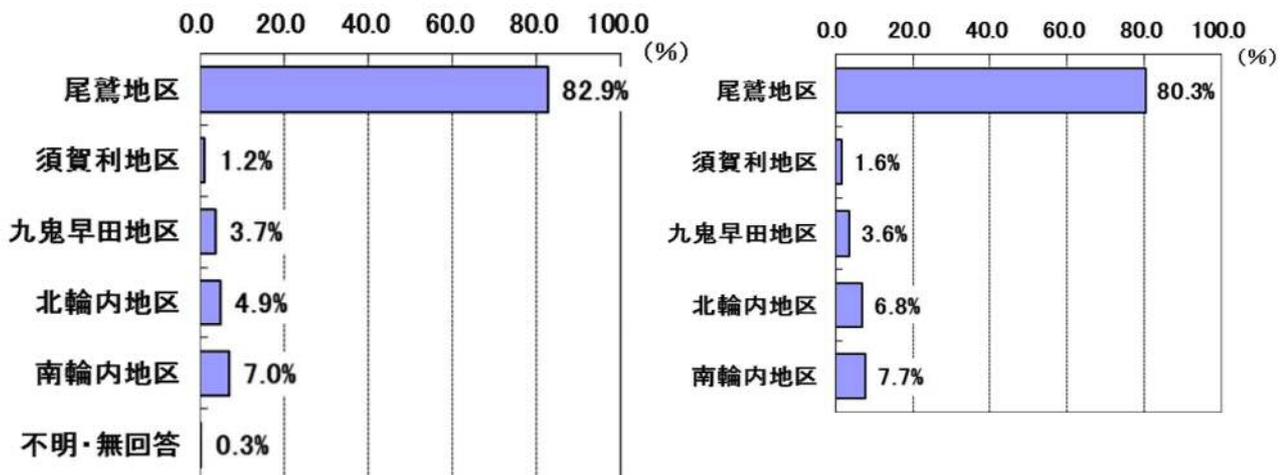
※調査対象である18歳以上の人口の年齢構成比。10代は18、19歳のみ。

問3 あなたは、尾鷲市のどの地区にお住まいですか。

回答者の居住地区は、「尾鷲地区」が 82.9%と大半を占めています。住民基本台帳の人口割合と比較すると、ほぼ同じ割合となっています。

N=328

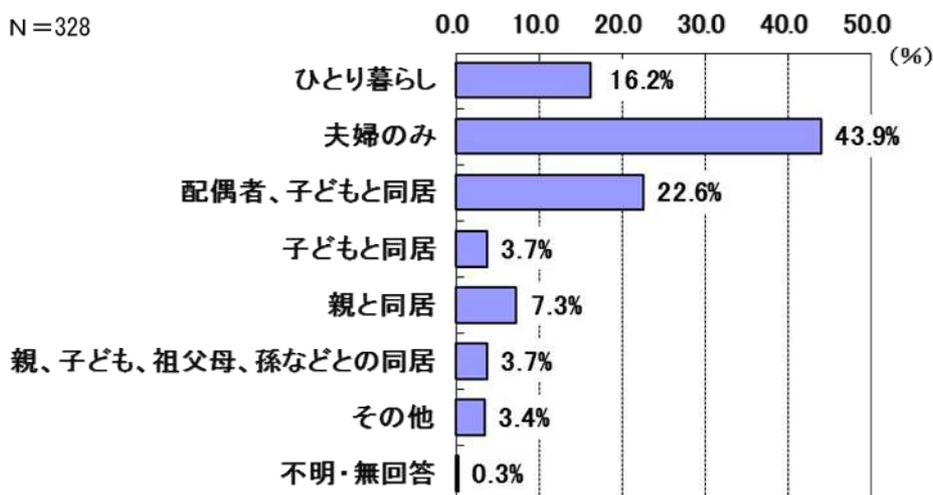
(参考)：住民基本台帳平成 27 年 3 月末現在



問4 あなたの世帯の状況を教えてください。

回答者の世帯の状況は、「夫婦のみ」が 43.9%、「配偶者、子どもと同居」が 22.6%、「ひとり暮らし」が 16.2%となっています。

N=328

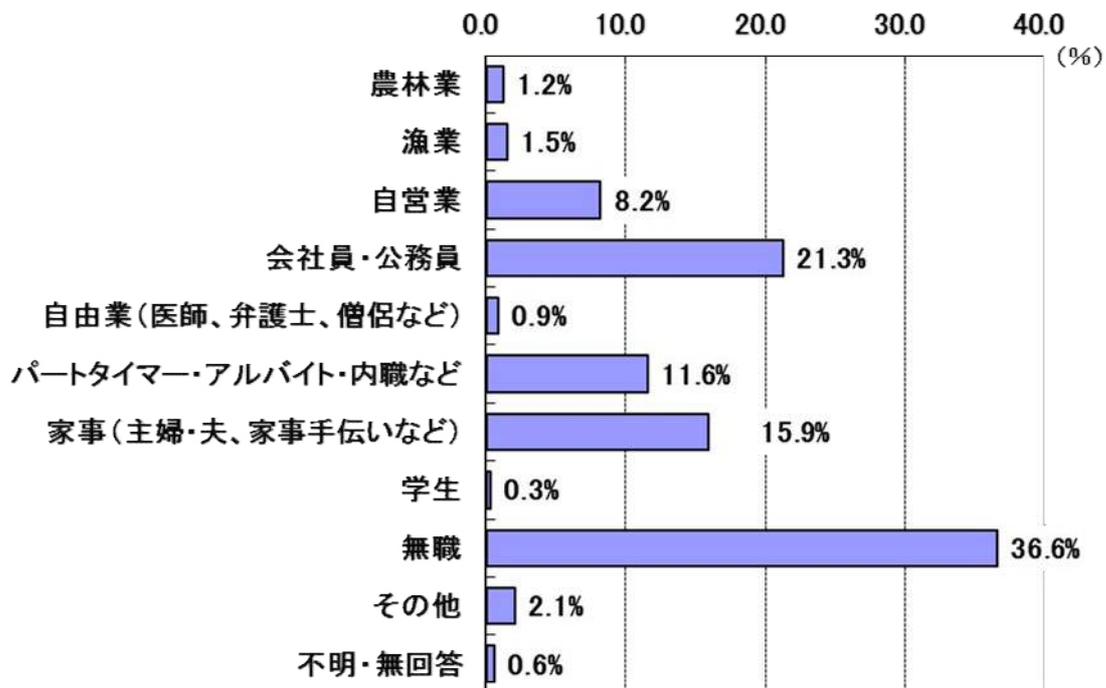


その他	件数
彼女と同居	1
高齢者福祉施設、グループホーム等	4
二世帯住宅	2
社宅	1

問5 あなたの主な職業をお聞かせください。

回答者の職業は、「無職」が 36.6%、「会社員・公務員」が 21.3%、「家事（主婦・夫、家事手伝いなど）」が 15.9%となっています。

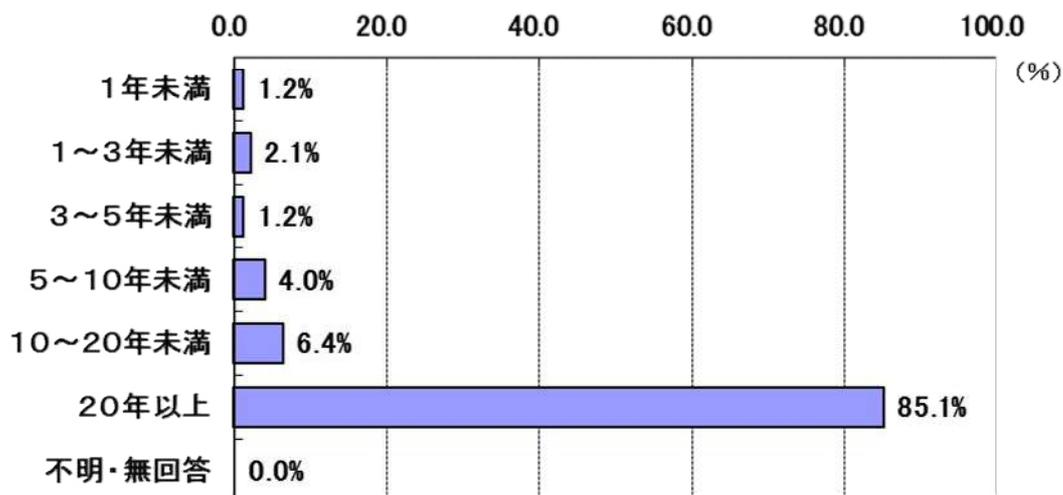
N=328



問6 あなたが尾鷲市にお住まいになってから何年経過していますか。

回答者の居住年数は、「20年以上」が 85.1%と大半を占めています。

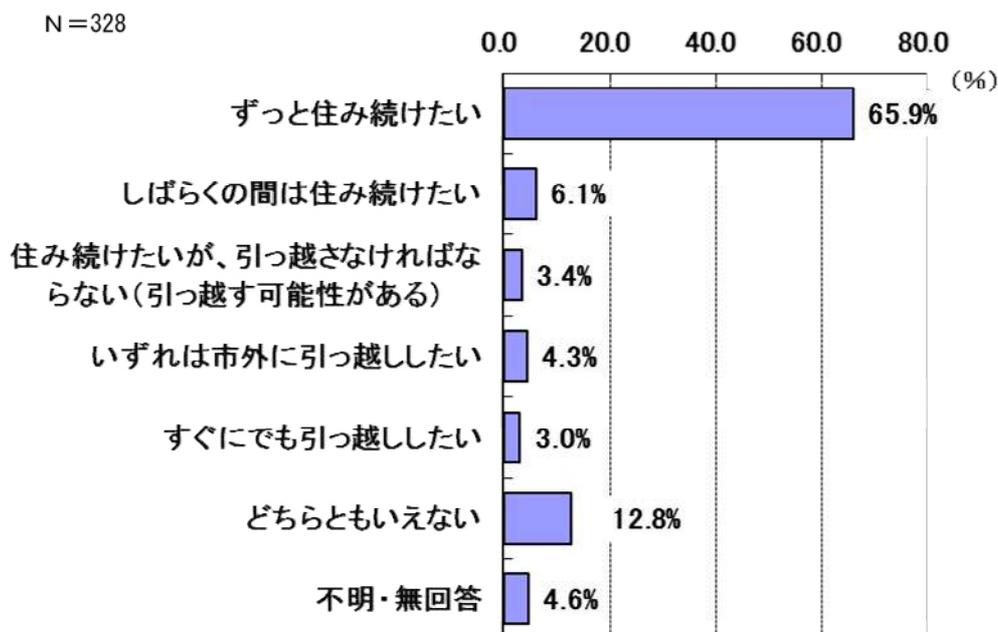
N=328



2. 本市での生活について

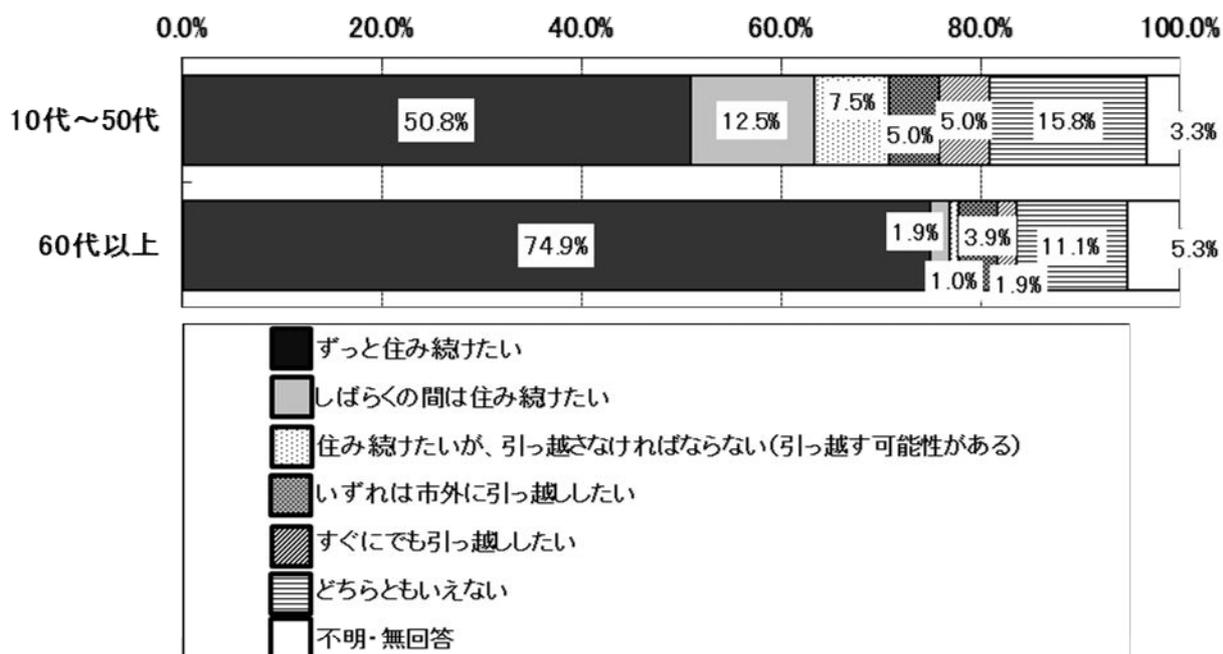
問7 あなたは、これからもずっと尾鷲市に住み続けたいとお考えですか。

定住意向は、「ずっと住み続けたい」が65.9%、「しばらくの間は住み続けたい」が6.1%となっており、「住み続けたい」と答えた方が合計で72.0%と4分の3近くを占めています。



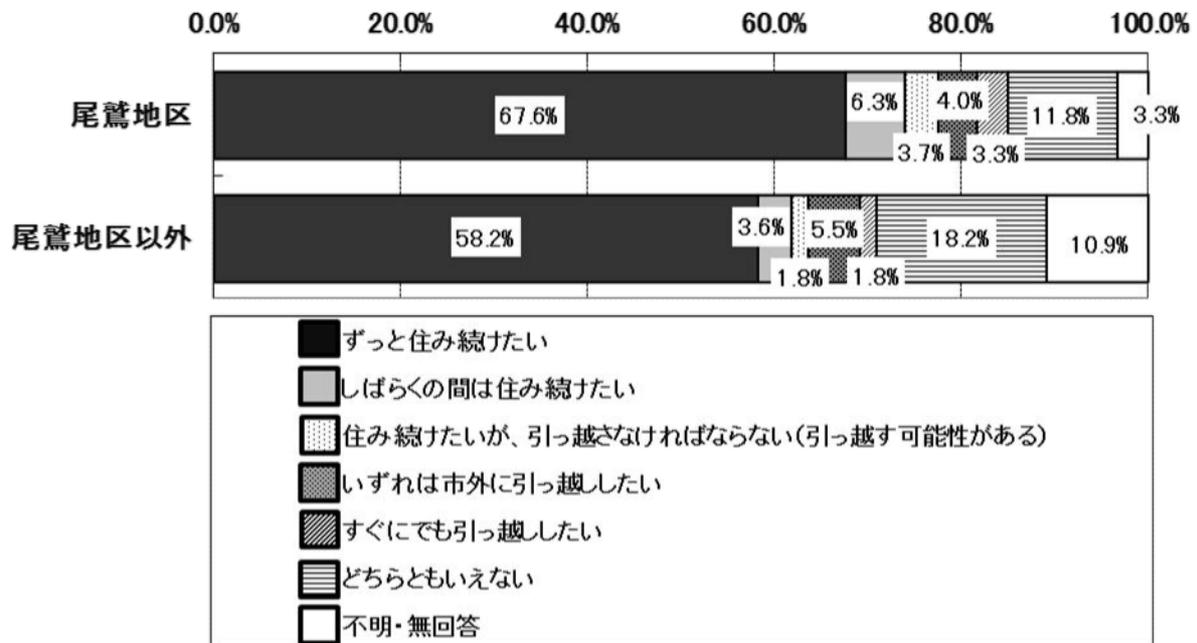
問7×年代

定住意向を年代別に見ると、「ずっと住み続けたい」は、「60代以上」では7割を越えているのに対し、「10代～50代」では5割程度と年代による差が見られます。



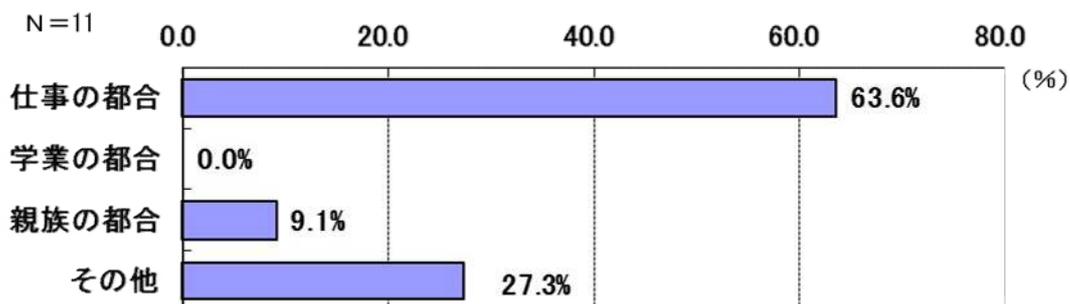
問7×居住地区

定住意向を地区別に見ると、「ずっと住み続けたい」は、「尾鷲地区」の方が若干高くなっています。



問8 【問7で「住み続けたいが、引っ越さなければならない(引っ越す可能性がある)」とお答えになった方におうかがいします。】引っ越す可能性がある理由は何ですか。

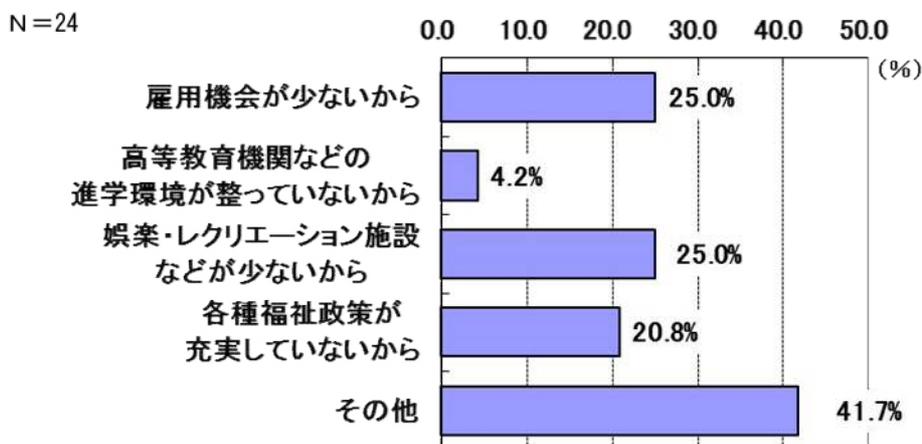
引っ越さなければならない理由は、「仕事の都合」が63.6%と最も高くなっています。



その他	
主人の仕事の都合	
借家住まいなので経済的理由	
住みよいと考えると、この尾鷲の独特な空気感の良い方向に捉えられるが、いざ住みにくいと思いはじめれば、一変して全てが裏目に出てしまうような環境であると思います。	

問9 【問7で「いずれは市外に引っ越したい」または「すぐにも引っ越したい」とお答えになった方におうかがいします。】市外に引っ越したい理由は何ですか。

引っ越したい理由は、「雇用機会が少ないから」と、「娯楽・レクリエーション施設などが少ないから」がともに 25.0%となっています。

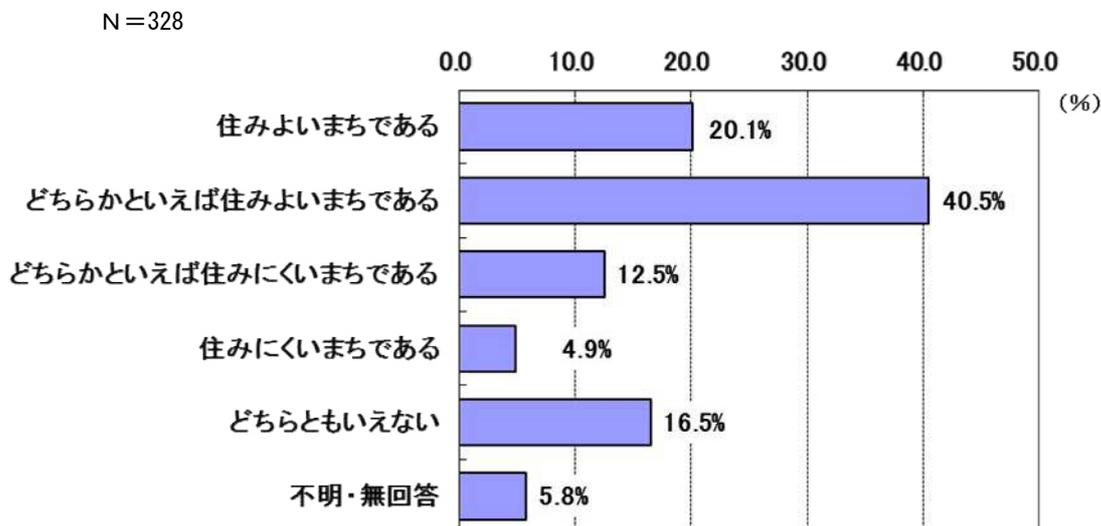


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
尾鷲人の心の低さ
町にも市政にも魅力を感じない
隣近所がうとうしい
環境面で住みにくく感じています
娘達の近くで住みたい
子供が市外に住んでいるから
結婚したいから。結婚相手は市外の人だから。
交通が不便

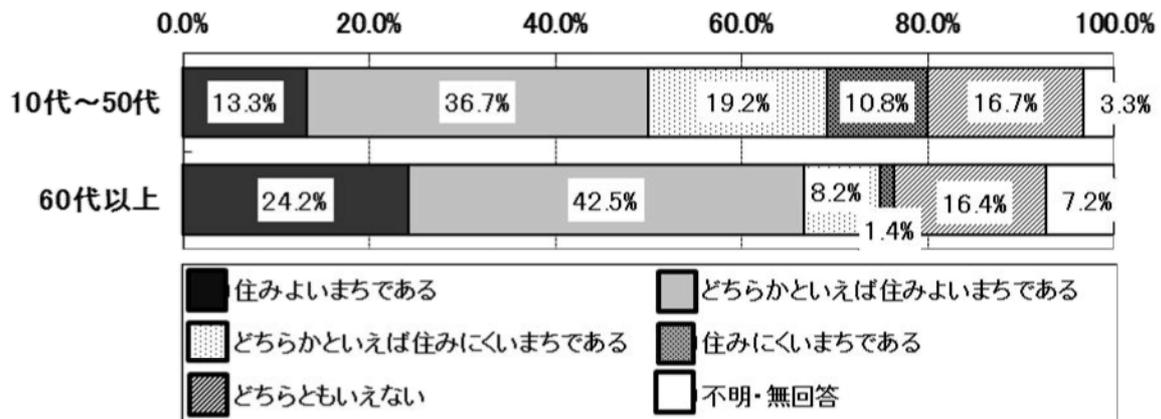
問10 あなたは、尾鷲市を全体としてどのようにお考えですか。

尾鷲市全体の評価として、「どちらかといえば住みよいまちである」が 40.5%、「住みよいまちである」が 20.1%となっており、合計で 60.6%が「住みよいまち」であるとしています。



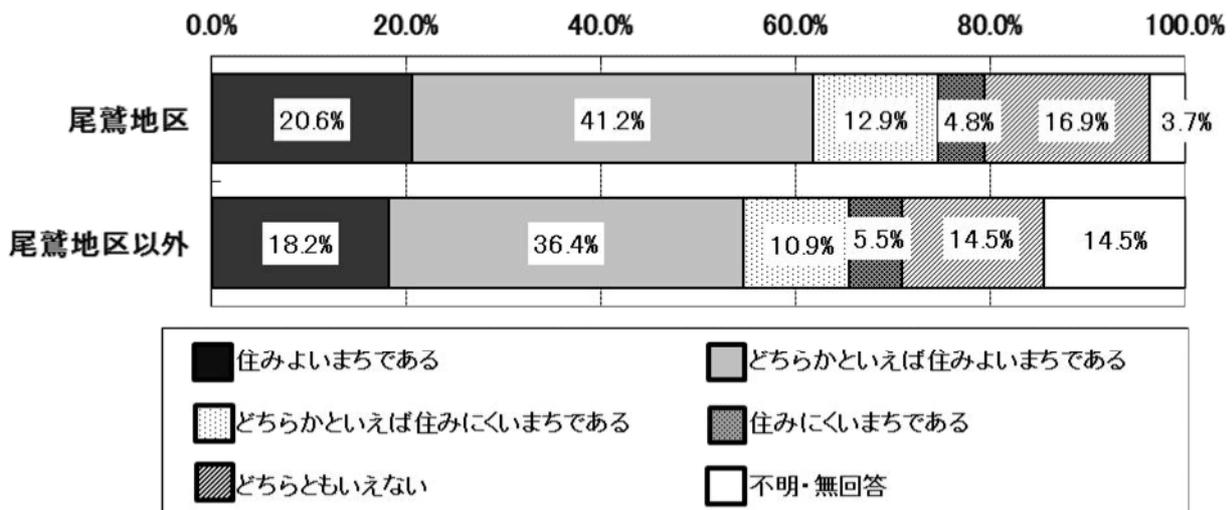
問 10×年代

尾鷲市全体の評価を年代別に見ると、「住みよいまちである」と「どちらかといえば住みよいまちである」の合計は、「60代以上」では7割近くになっているのに対し、「10代～50代」では5割と年代による差が見られます。



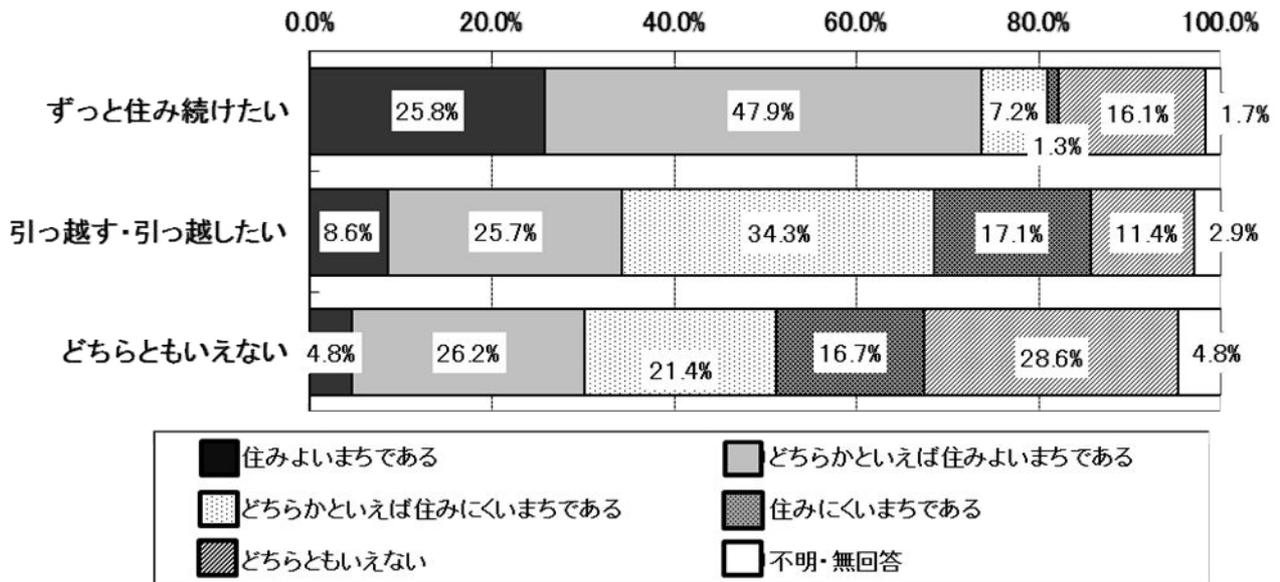
問 10×居住地区

尾鷲市全体の評価を地区別に見ると、「住みよいまちである」と「どちらかといえば住みよいまちである」の合計は、「尾鷲地区」においては6割を越えているのに対し、「尾鷲地区以外」では5割程度となっており、地区により若干の差が見られます。



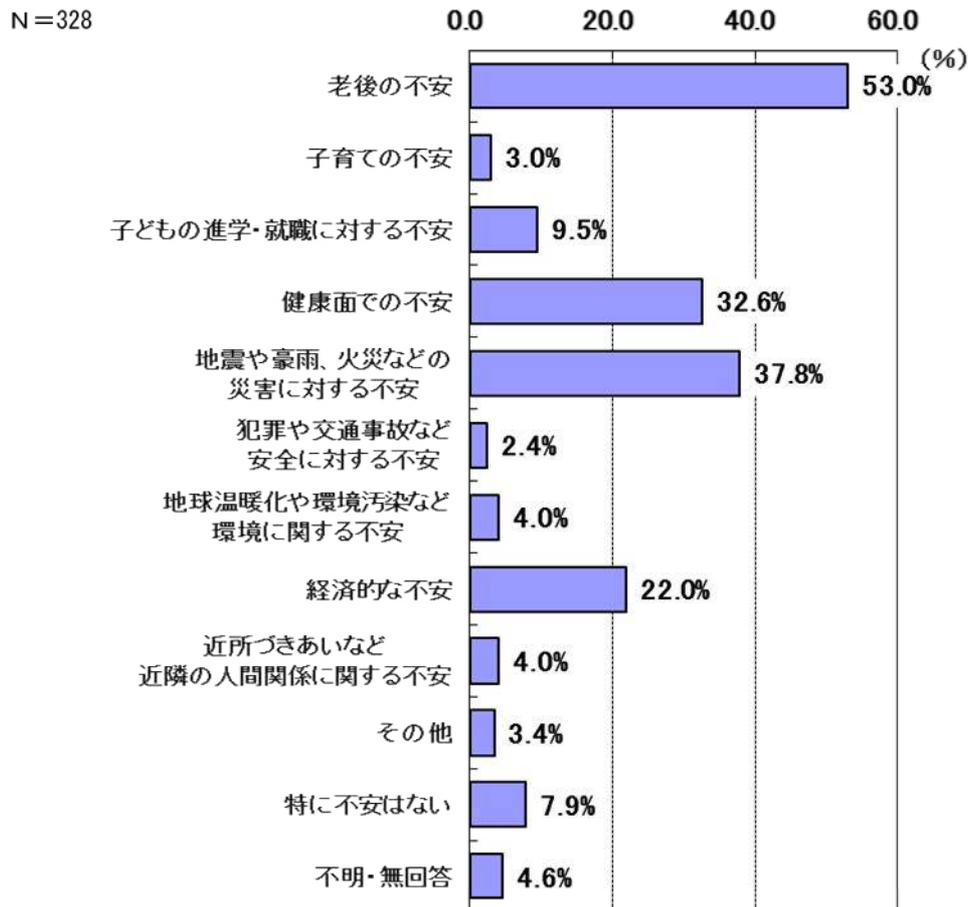
問 10×定住意向

尾鷲市全体の評価を定住意向別に見ると、「住みよいまちである」と「どちらかといえば住みよいまちである」の合計は、「ずっと住み続けたい」と答えた方では7割以上となっているのに対し、「引っ越す・引っ越したい」と答えた方では3割程度にとどまり、定住意向による差が見られます。



問 11 現在、あなたが不安に感じていることは何ですか。(複数回答)

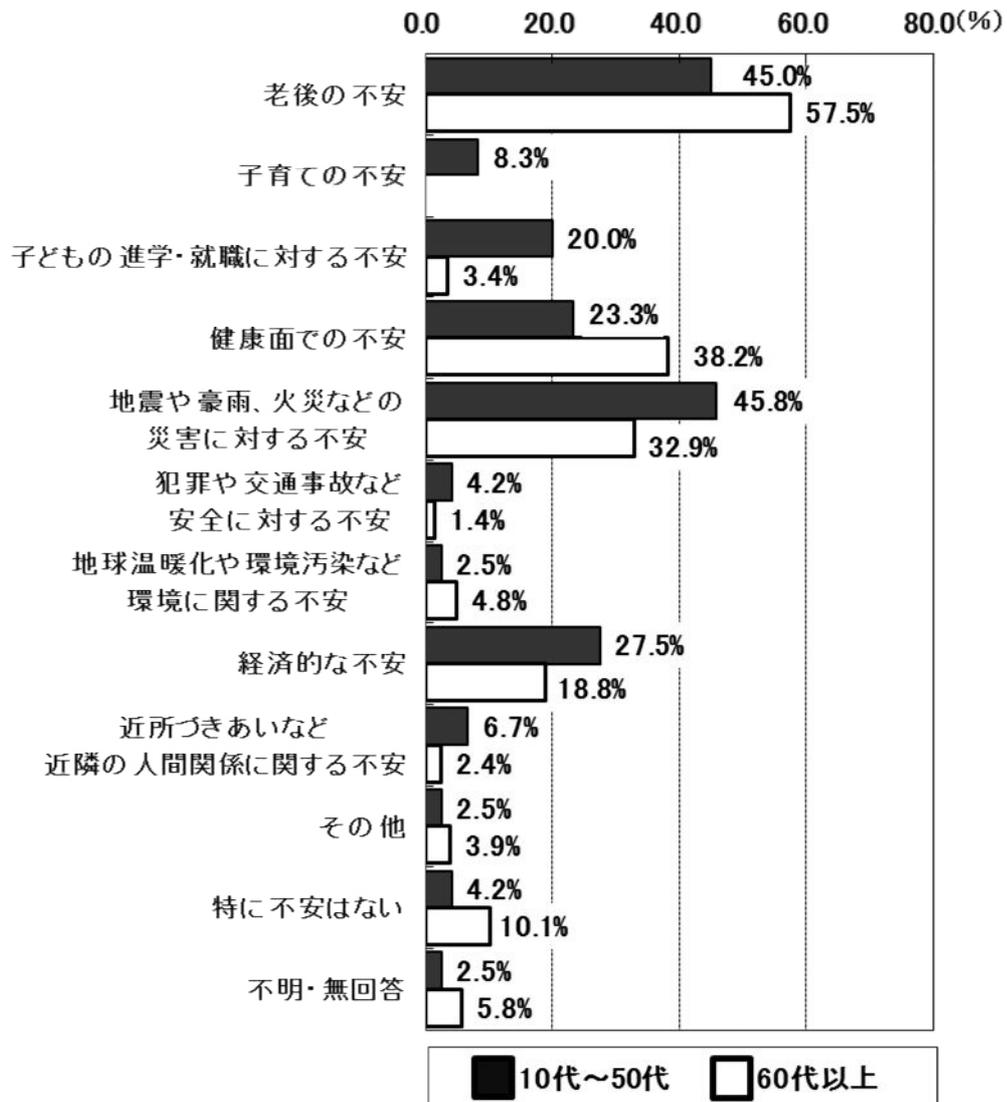
現在不安に感じていることとして、「老後の不安」が53.0%、「地震や豪雨、火災などの災害に対する不安」が37.8%、「健康面での不安」が32.6%となっています。



その他
封建主義
県立病院
満足している
経済の衰退、人口減少
市政への不安
バス停が遠く、小売店も近しくなく、買い物が不便です。運賃も高いです。尾鷲一須賀利¥2,000(往復)ですよ。一定額を収めてパス券でも発行して欲しいです。
交通に不便、特にJRのダイヤ本数少なく、和歌山間と紀勢本線を結ぶなど働きかけてほしい。
キチガイが多い
進学にしても、転勤で転入している人は必ずといっていいほど転勤して行く。尾鷲では高校レベルが低いと思われる。願っても働く所が無い。市の人も考えているだろう、人口は絶対増えないと思う。
行政(県、市)の住民の要望に対する実行力のなさに不安
地域全体の課題

問 11×年代

現在不安に感じていることを年代別に見ると、「老後の不安」や「健康面での不安」では「60代以上」の方の割合が高く、「子どもの進学・就職に対する不安」や「地震や豪雨、火災などの災害に対する不安」では「10代～50代」のほうが高くなっています。

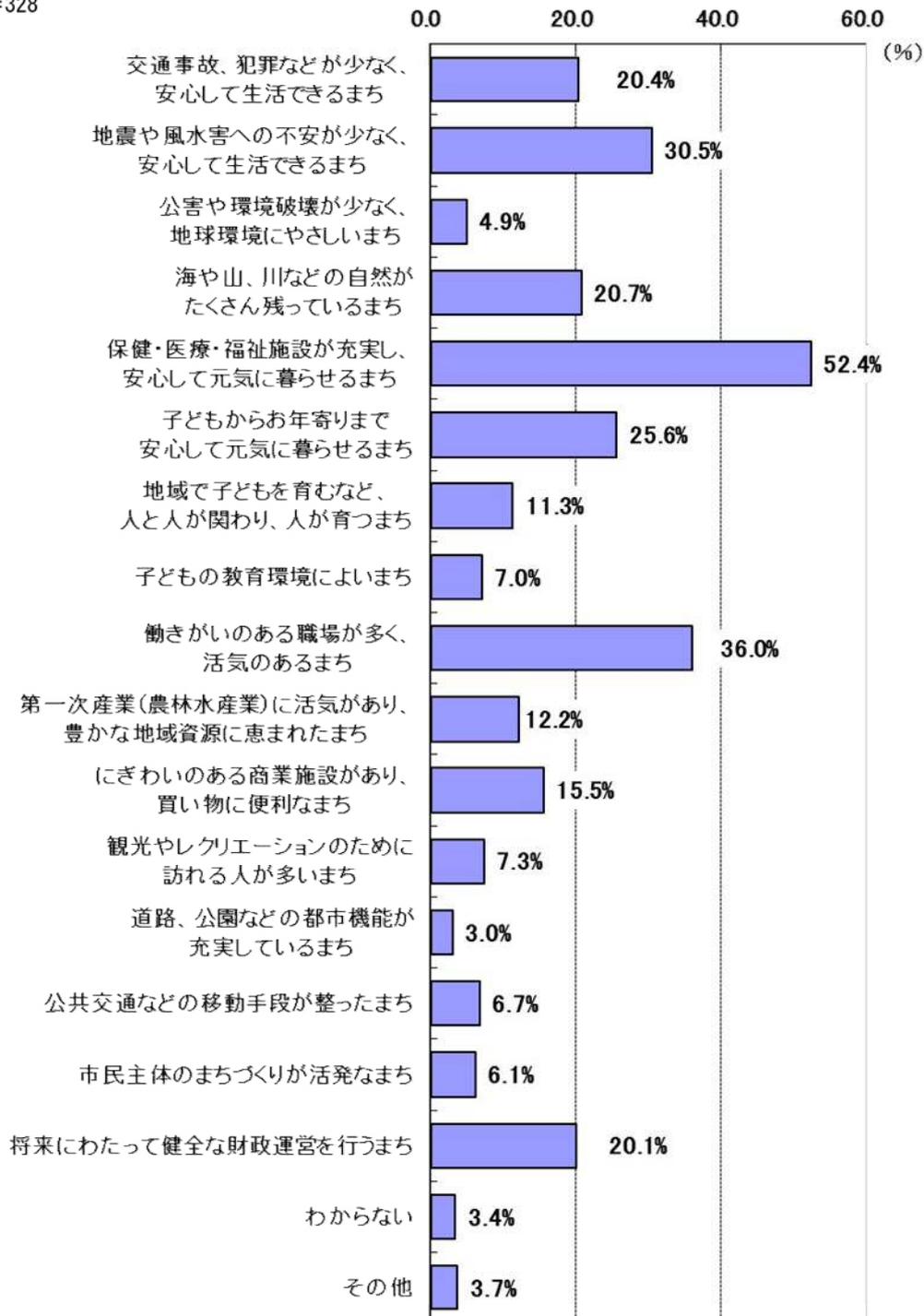


3. これからのまちづくりについて

問 12 あなたは、尾鷲市が将来どのようなイメージのまちになってほしいと思いますか。
(複数回答)

尾鷲市の将来イメージで希望するものとして、「保健・医療・福祉施設が充実し、安心して元気に暮らせるまち」が52.4%、「働きがいのある職場が多く、活気のあるまち」が36.0%、「地震や風水害への不安が少なく、安心して生活できるまち」が30.5%となっています。

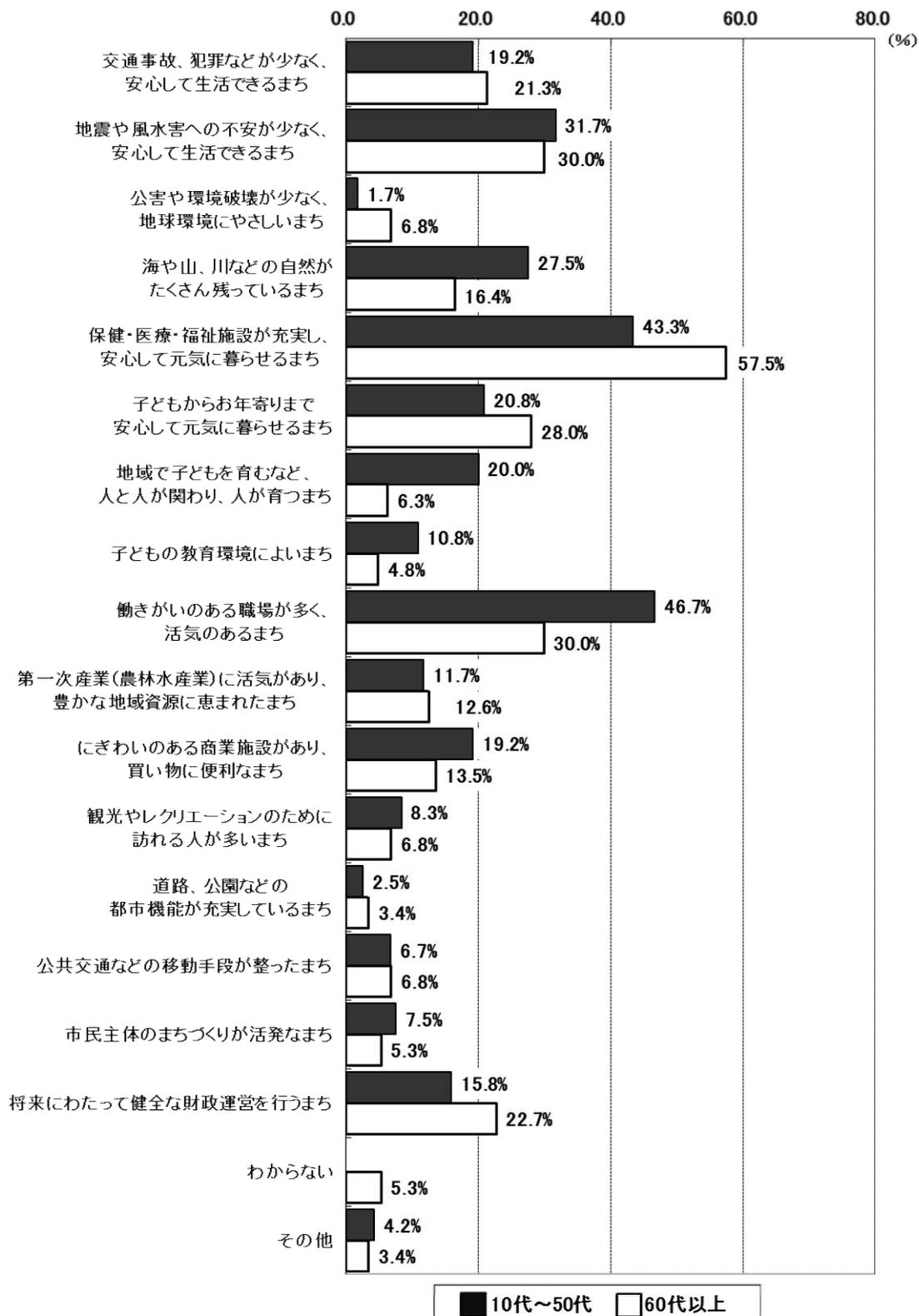
N=328



その他
地震・津波が心配
市民の人間改革により、何でも話し合える町
悪いイメージしかない…。
生活道路が下に一本あるだけで高台にいるものはとても不便。道路がほしい(古江)
このままでよい
イメージできない
企業誘致や大学誘致をして人口10万人超えのまち
・市庁舎の安全の確保(地震等による不安がある)・若者の働く場の確保・大学の誘致
指導者がいないまち
清掃が行き届き清潔な町
尾鷲市にしかできないまち
市役所で一度考えて。アンケートが届いてもポイで終わりとちがうか。

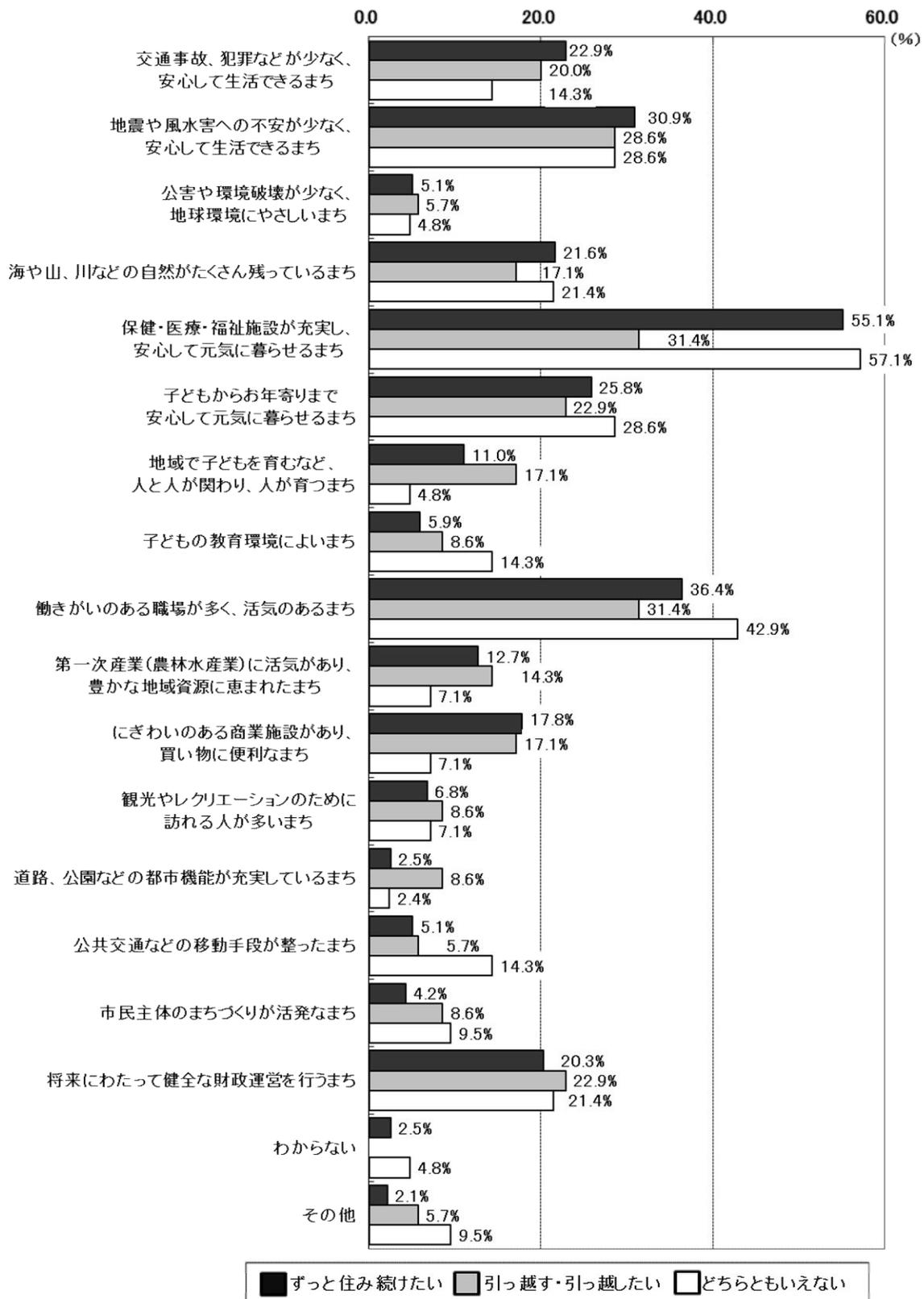
問 12×年代

尾鷲市の将来イメージで希望するものを年代別に見ると、「保健・医療・福祉施設が充実し、安心して元気に暮らせるまち」や「子どもからお年寄りまで安心して元気に暮らせるまち」などでは 60 代以上が高く、「海や山、川などの自然がたくさん残っているまち」や「働きがいのある職場が多く、活気のあるまち」などでは「10 代～50 代」が高くなっています。



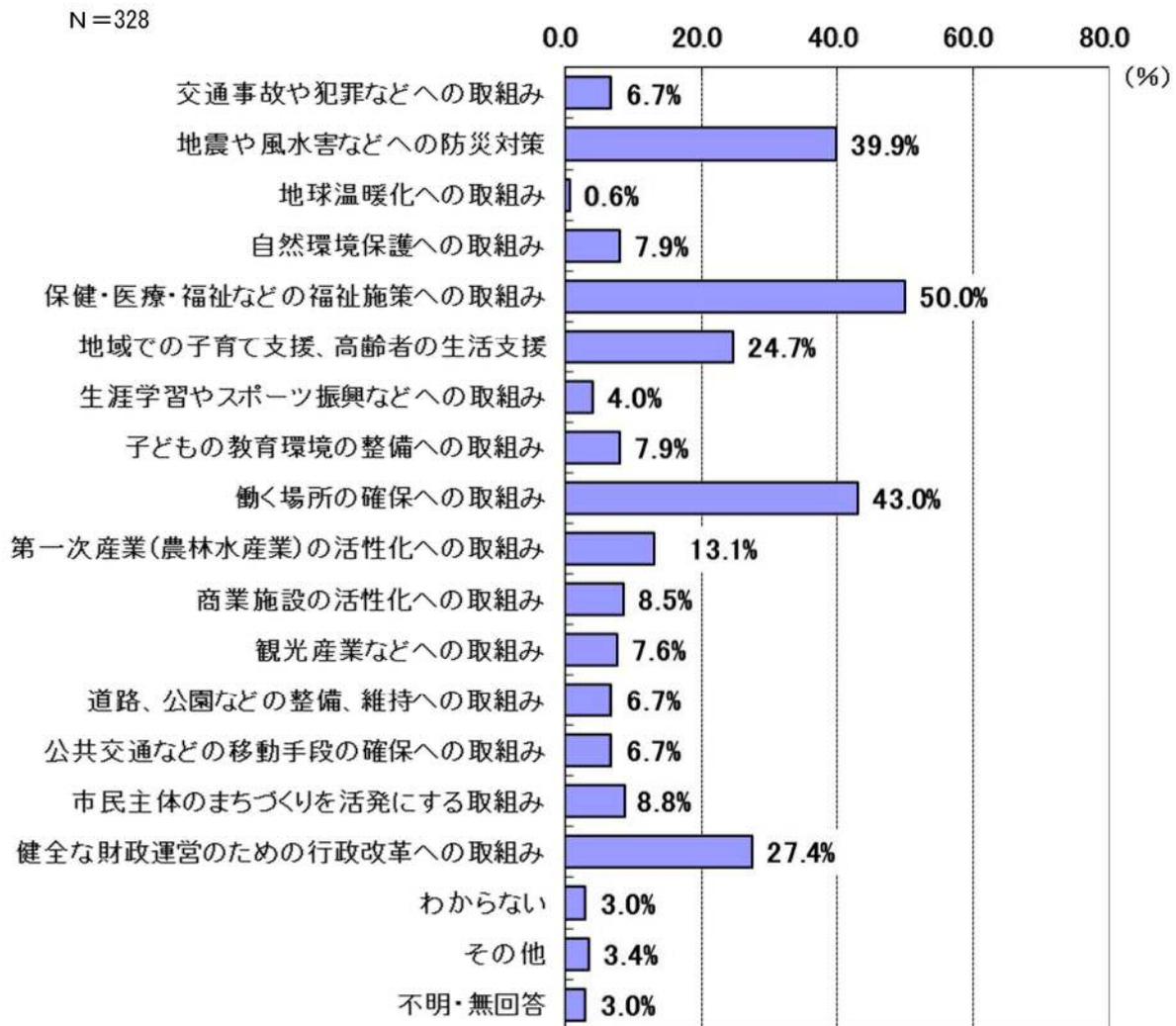
問 12×定住意向

尾鷲市の将来イメージで希望するものを定住意向別に見ると、「ずっと住み続けたい」「引っ越す・引っ越したい」を選んだ方に共通して、「保健・医療・福祉施設が充実し、安心して元気に暮らせるまち」が最も高くなっています。



問 13 あなたは、尾鷲市がこれからまちづくりを進めるうえで、市が積極的に進めるべき取り組みは何であるとお考えですか。(複数回答)

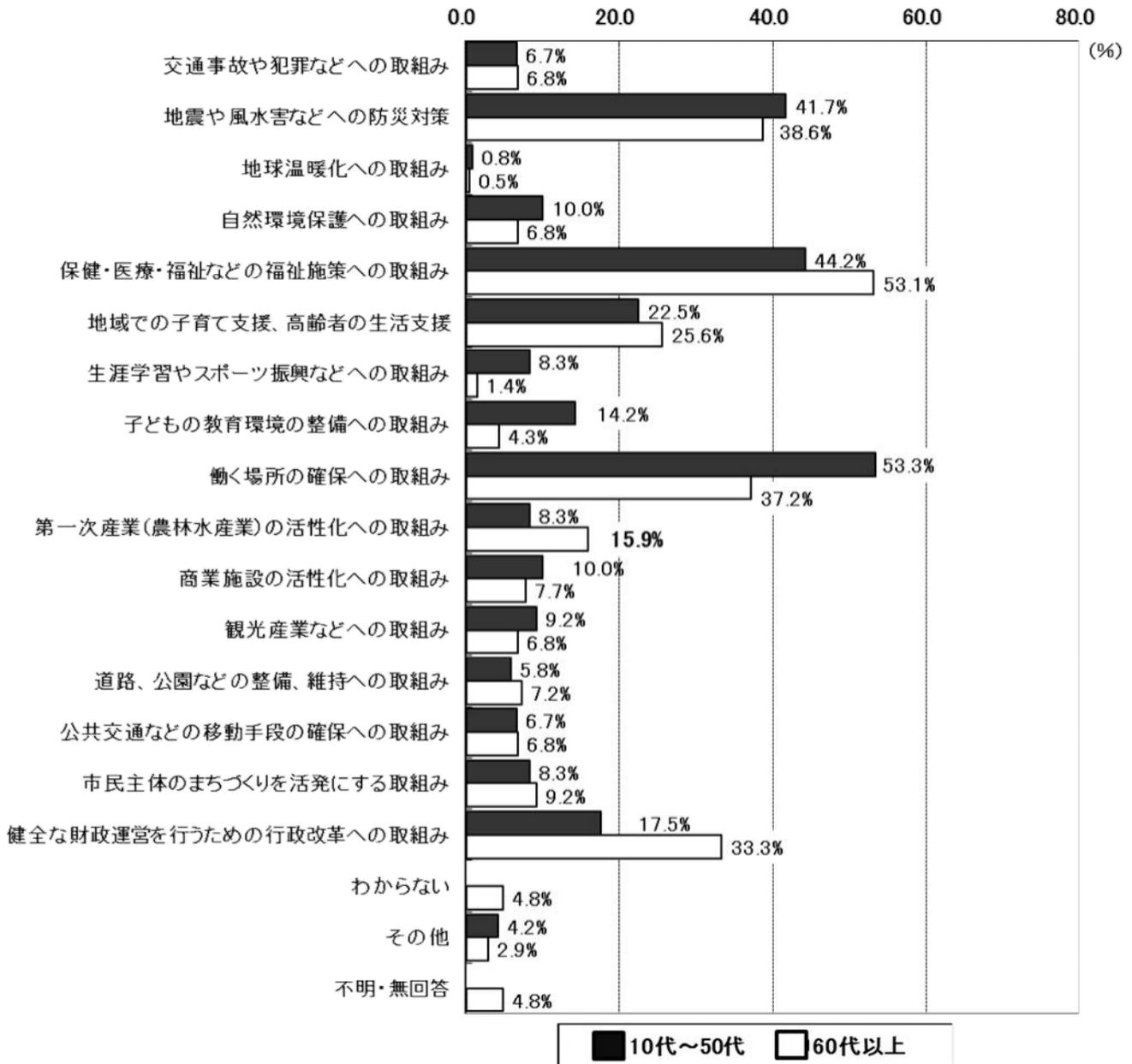
これからのまちづくりで尾鷲市が進めるべき取り組みとして、「保健・医療・福祉などの福祉施策への取り組み」が50.0%、「働く場所の確保への取り組み」が43.0%、「地震や風水害などへの防災対策」が39.9%となっています。



その他
人間改革
企業誘致や大学誘致を進めて人口を増やす
市長も市議会の先生も見える様に活動してほしいです
若い人学校卒業後市外に出てしまう！これといった働く場所がない！
口だけの政治家を減らせ
尾鷲市の人口増加
地震や風水害などへの防災対策も必要ですが、一番大事な人と人との関係が薄くなっている。助け合いができる町。(田舎の良さがなくなっている)
他の市町にはない尾鷲市独自の取り組み
ひとり暮らし高齢者の見守りは定期的に訪問出来ないだろうと思う

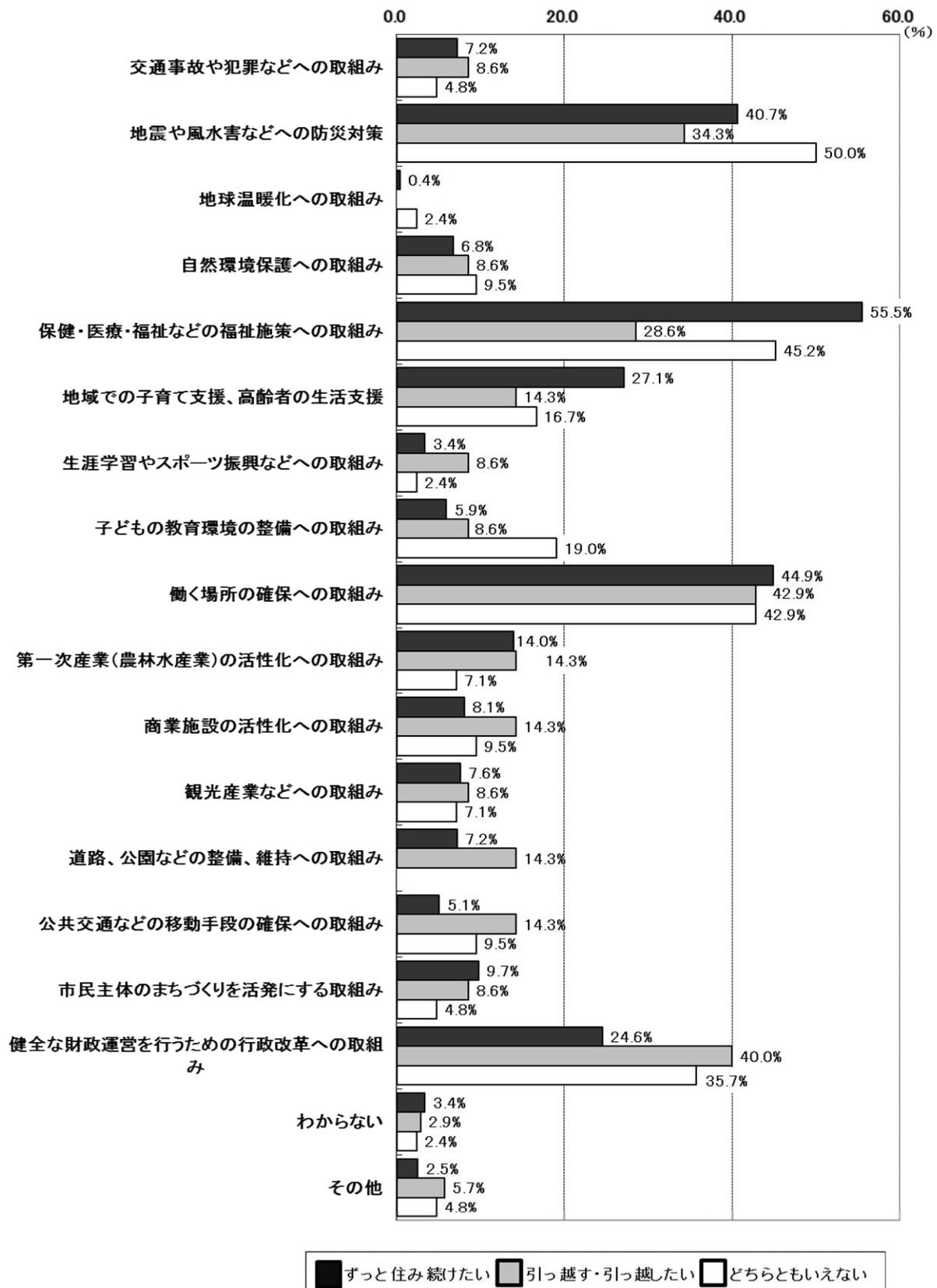
問 13×年代

これからのまちづくりで尾鷲市が進めるべき取り組みを年代別に見ると、60代以上では「保健・医療・福祉などの福祉施策への取り組み」が最も高く、10代～50代では「働く場所の確保への取り組み」が最も高くなっています。



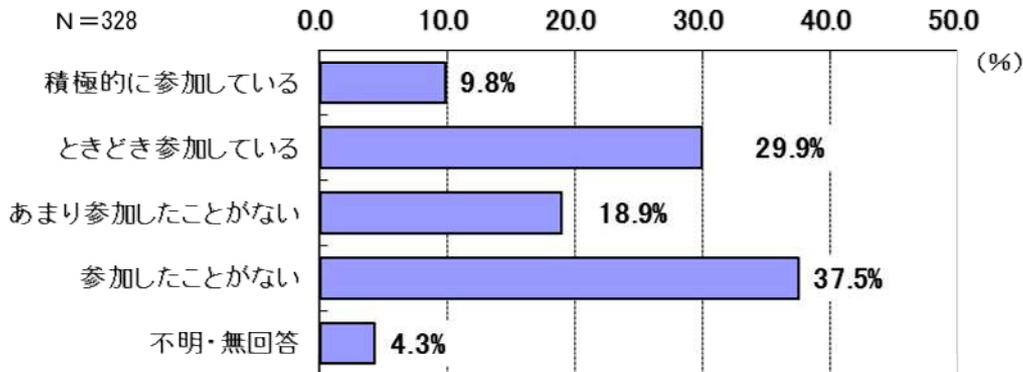
問 13×定住意向

これからのまちづくりで尾鷲市が進めるべき取り組みを定住意向別に見ると、「ずっと住み続けたい」と答えた方では「保健・医療・福祉などの福祉施策への取り組み」が最も高く、「引っ越す・引っ越したい」と答えた方では「働く場所の確保への取り組み」が最も高くなっています。



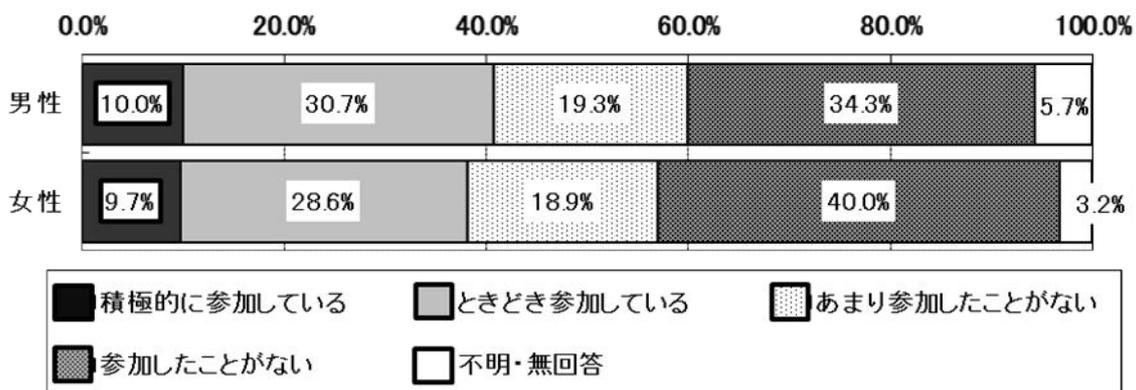
問 14 あなたは、地区の行事やボランティアなどの活動に参加したことがありますか。

地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況として、「ときどき参加している」が29.9%、「積極的に参加している」が9.8%と、「参加している」層は約4割となっています。



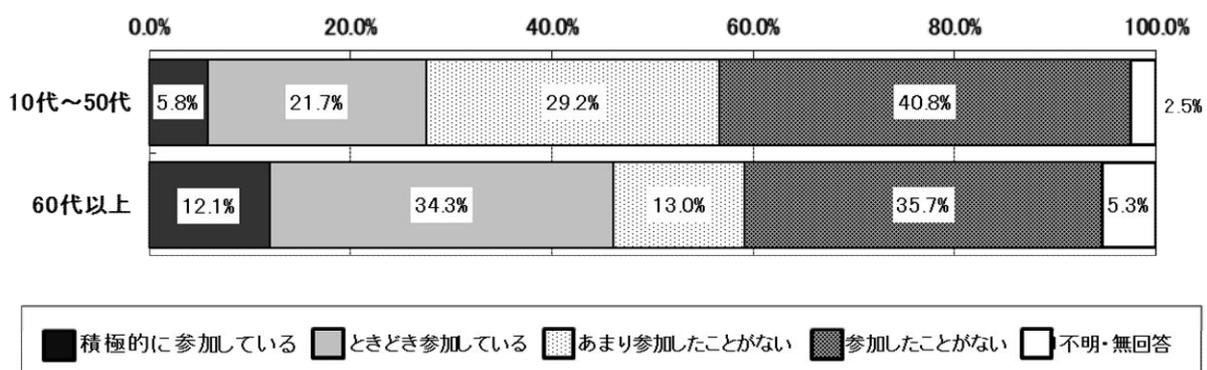
問 14×性別

地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況を性別ごとに見ると、「積極的に参加している」と「ときどき参加している」の合計は、「男性」の方が若干高くなっています。



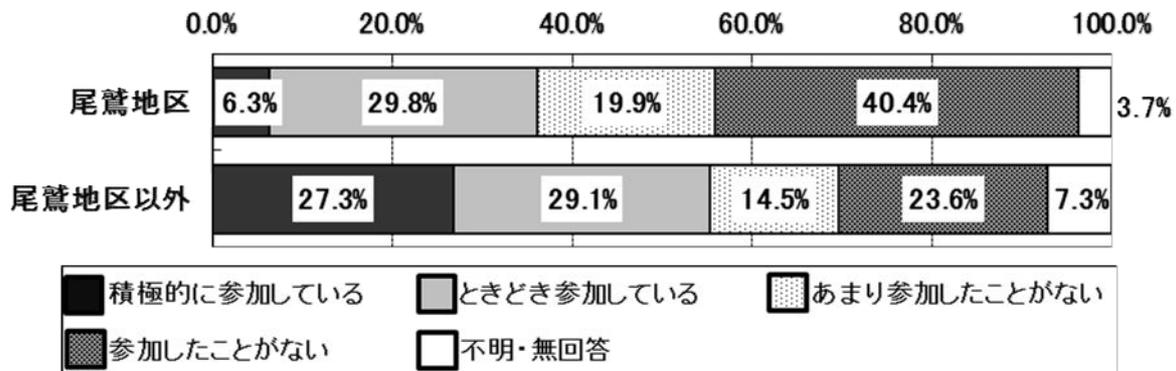
問 14×年代

地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況を年代別に見ると、「積極的に参加している」と「ときどき参加している」の合計が、「10代～50代」では3割程度であるのに対し、「60代」では5割近くになっています。



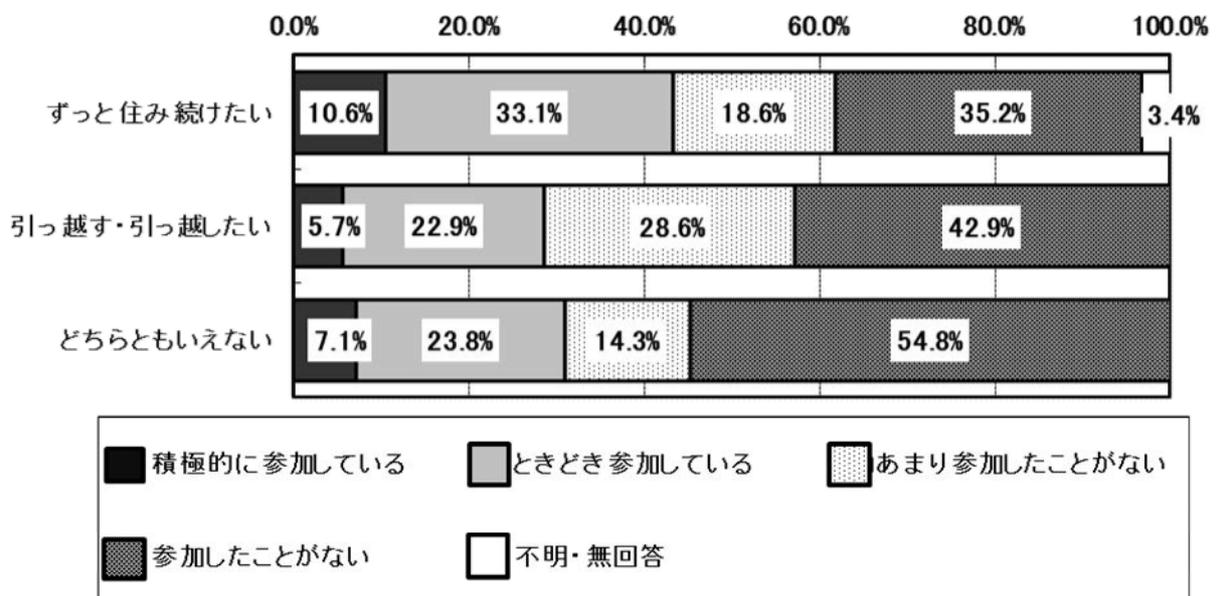
問 14×地区

地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況を地区別に見ると、「積極的に参加している」と「ときどき参加している」の合計が、「尾鷲地区」では3割程度であるのに対し、「尾鷲地区以外」では5割以上となっています。



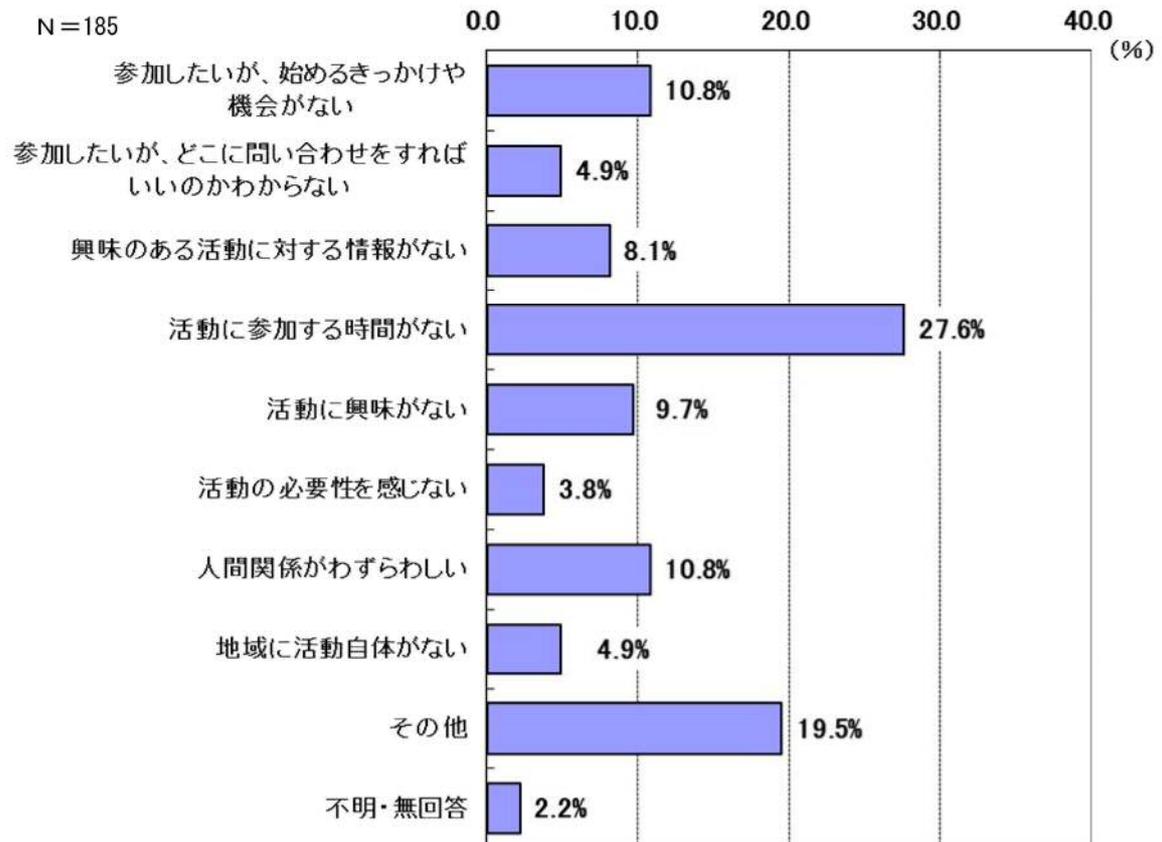
問 14×定住意向

地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況を定住意向別に見ると、「積極的に参加している」と「ときどき参加している」の合計が、「引っ越す・引っ越したい」と答えた方では3割に満たないのに対し、「ずっと住み続けたい」では4割以上となっています。



問 15 【問 14 で「あまり参加したことがない」または「参加したことがない」とお答えになった方におうかがいします。】「あまり参加したことがない」「参加したことがない」と回答された理由は何ですか。

地区の行事やボランティアなどの活動に参加したことがない理由として、「活動に参加する時間がない」が 27.6%、「参加したいが、始めるきっかけや機会がない」と「人間関係がわずらわしい」がともに 10.8%となっています。

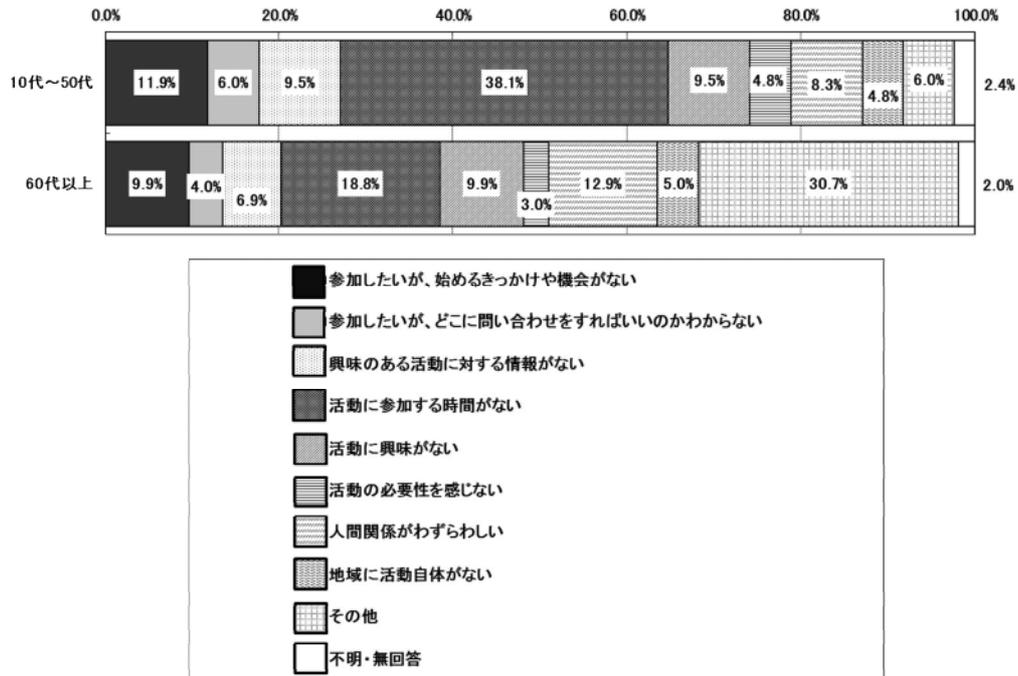


※複数回答があったため、合計が 100%を超えています。

その他	件数
病気など身体上の理由	15
高齢のため	8
仕事のため	3
尾鷲市へ引っ越してきたばかりのため。	1
何をやっているのかわからない	1
夫の介護が長かったから！それまでは自営業だったから！	1
わずらわしいというより沢山の人がいる場所が苦手	1
若い時からチャンスがなかった	1
できない	1
ときどき参加していたが、今は余り参加したことがない	1

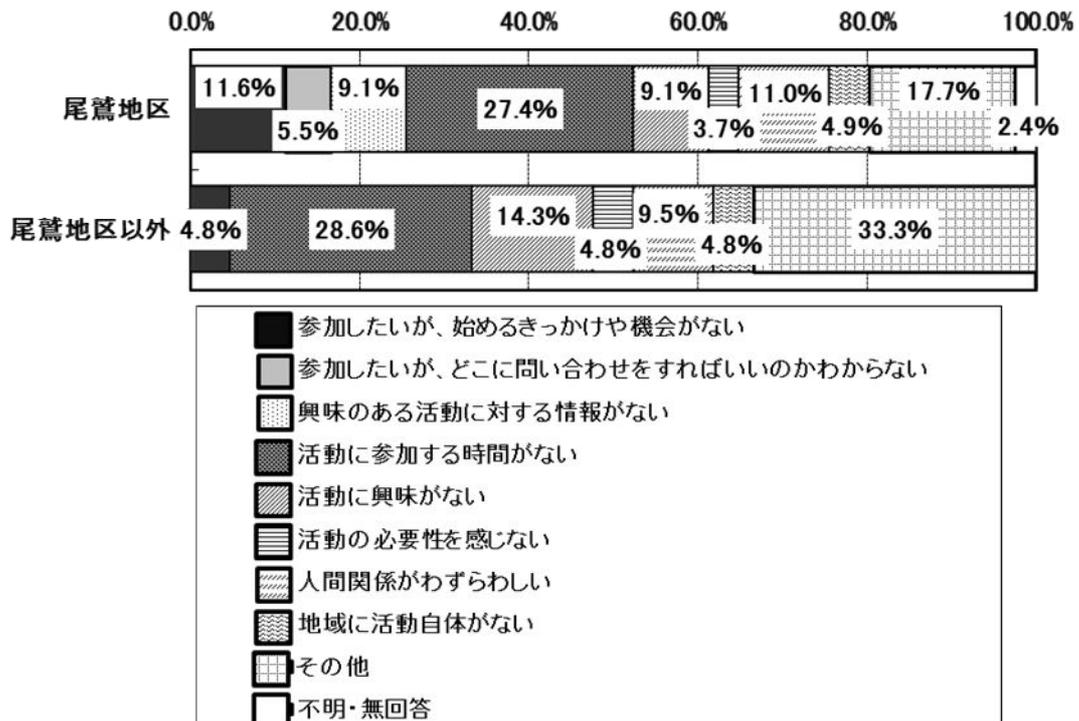
問 15×年代

地区の行事やボランティアなどの活動に参加したことがない理由を年代別に見ると、「活動に参加する時間がない」の割合は、「10代～50代」が「60代以上」に比べ2倍以上となっています。



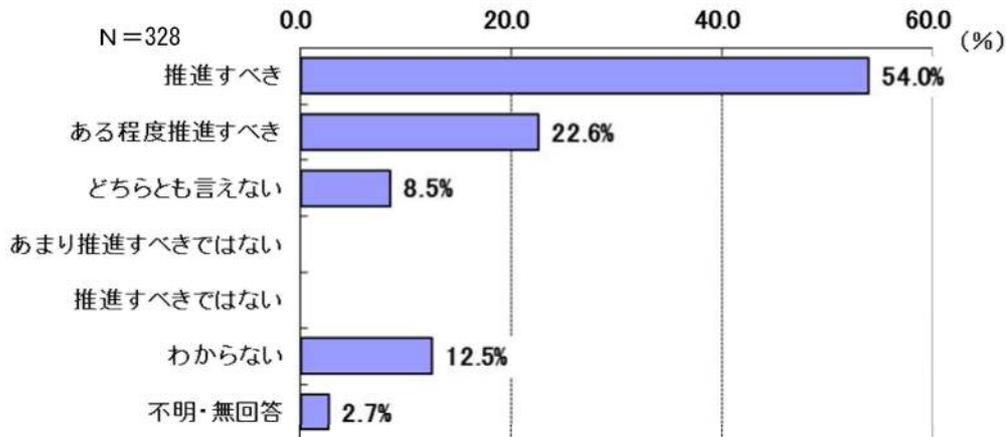
問 15×地区

地区の行事やボランティアなどの活動に参加したことがない理由を地区別に見ると、「参加したいが、始めるきっかけや機会がない」では「尾鷲地区」の方が高く、「活動に参加する時間がない」や「活動に興味がない」では、「尾鷲地区以外」の方が高くなっています。



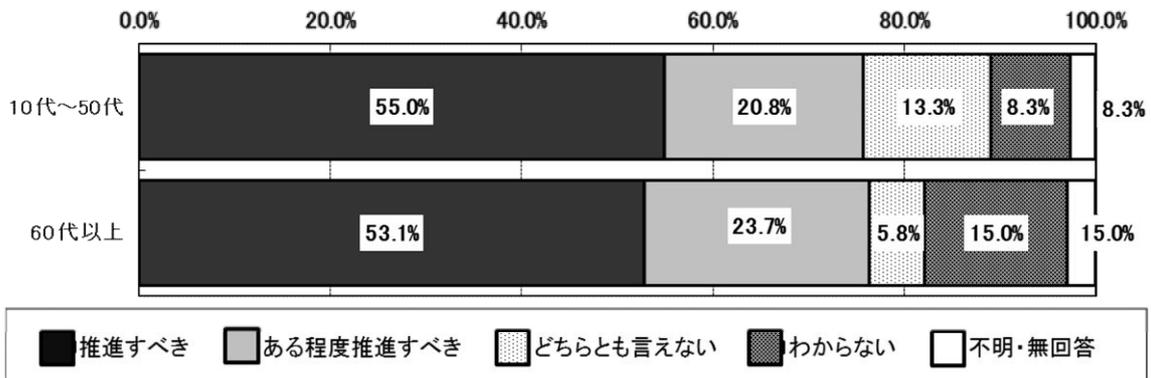
問 16 尾鷲市ではこれから、市役所を含む市民みなで地域の課題を解決するために、目標を共有して、その目標達成のために取り組むことを進めたいと考えています。このことについてあなたはどのように考えますか。

市民みなで目標達成のために取り組むことについて、「推進すべき」が 54.0%、「ある程度推進すべき」が 22.6%と、「推進」した方が良いとの回答が7割以上となっています。



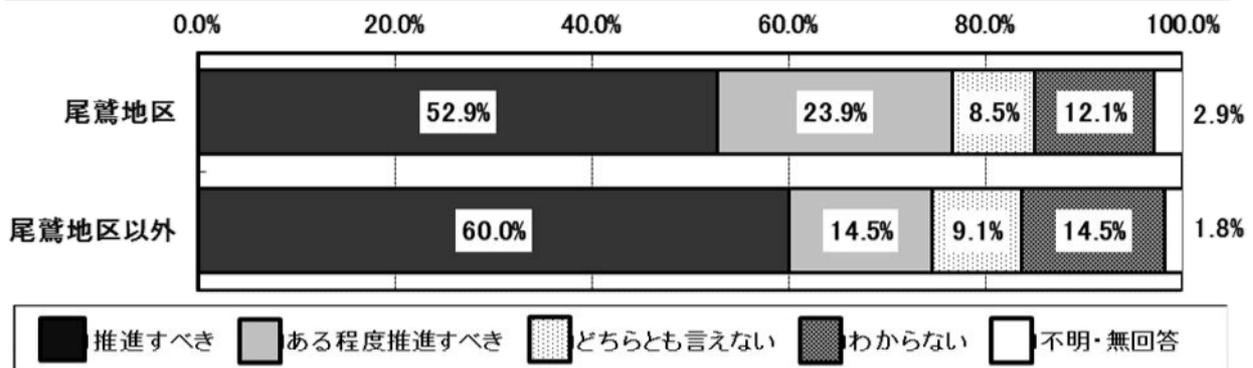
問 16×年代

市民みなで目標達成のために取り組むことについて年代別に見ると、「推進すべき」と答えた方は、「10代～50代」「60代以上」の方がともに半数以上となっており、「10代～50代」が若干高くなっています。



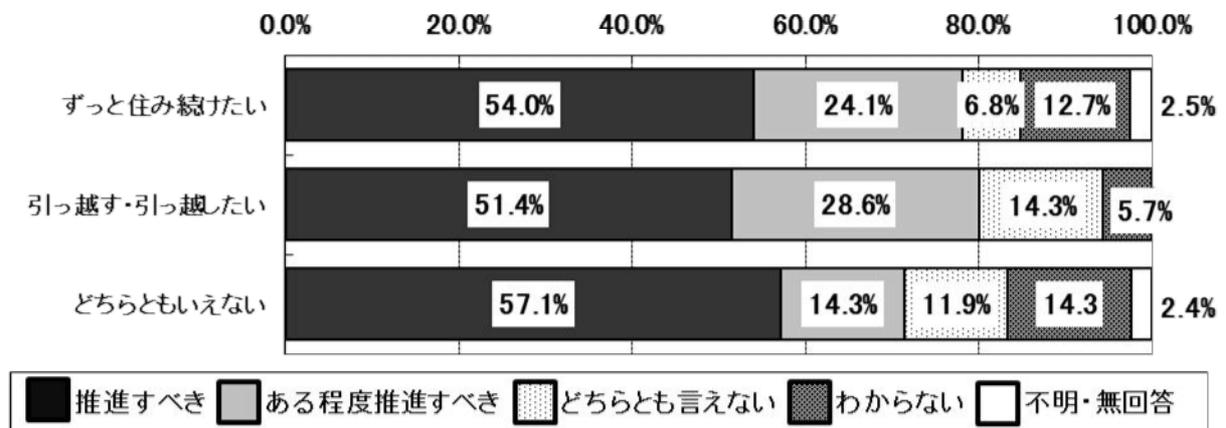
問 16×地区

市民みなで目標達成のために取り組むことについて地区別に見ると、「推進すべき」では、「尾鷲地区以外」にお住まいの方のほうが高くなっています。



問 16×定住意向

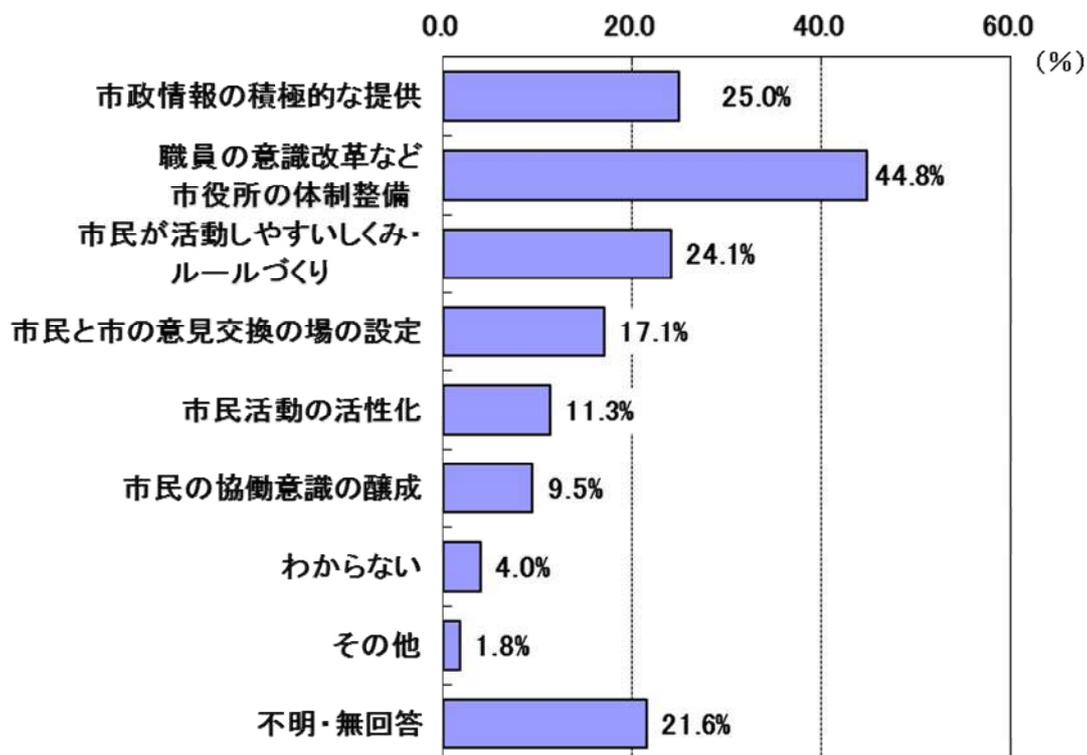
市民みんなで目標達成のために取り組むことについて定住意向別に見ると、「推進すべき」では、「ずっと住み続けたい」を選んだ方のほうが高くなっています。



問 17 【問 16 で「推進すべき」または「ある程度推進すべき」とお答えになった方におうかがいします。】市民との協働のまちづくりを進めるうえで、あなたは、市がどのようなことに取り組むべきだと考えますか。（複数回答）

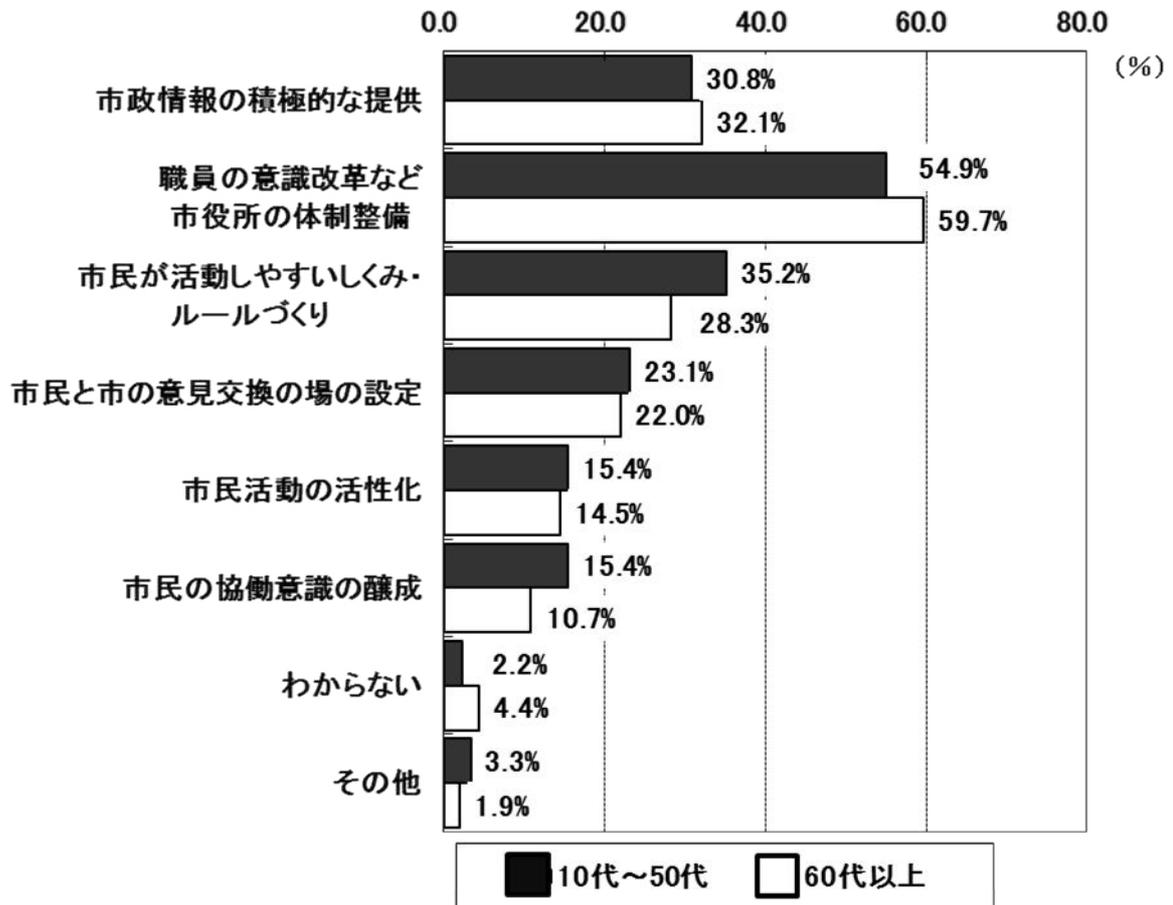
市民との協働のまちづくりを進めるうえで市が取り組むべきこととして、「職員の意識改革など市役所の体制整備」が 44.8%、「市政情報の積極的な提供」が 25.0%、「市民が活動しやすいしくみ・ルールづくり」が 24.1%と高くなっています。

N=251



問 17×年代

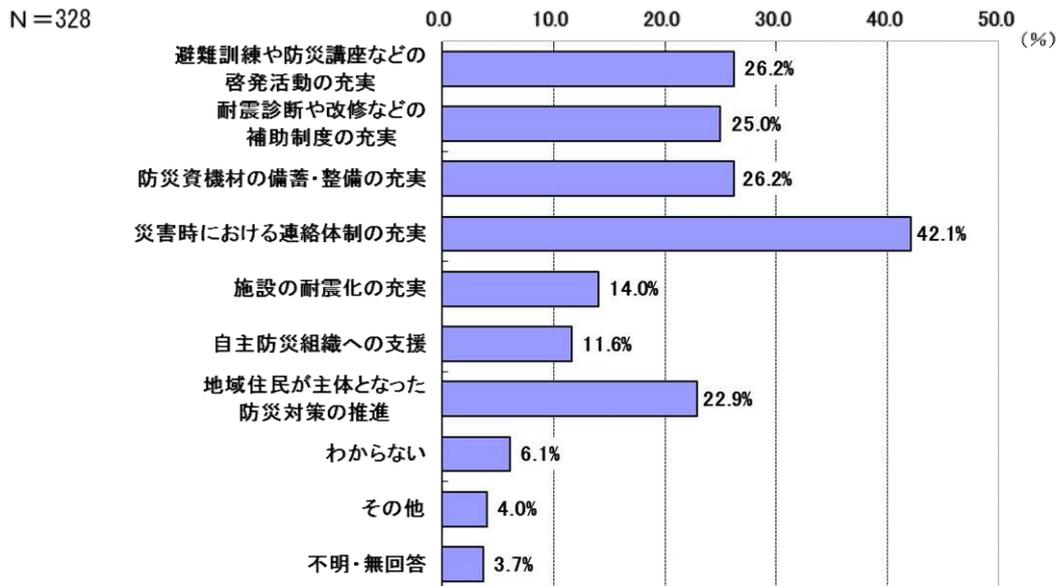
市民との協働のまちづくりを進めるうえで市が取り組むべきことを年代別に見ると、「職員の意識改革など市役所の体制整備」が各年代とも高く、「10～50代」の「市民が活動しやすいしくみ・ルールづくり」の割合が高くなっています。



【安全】

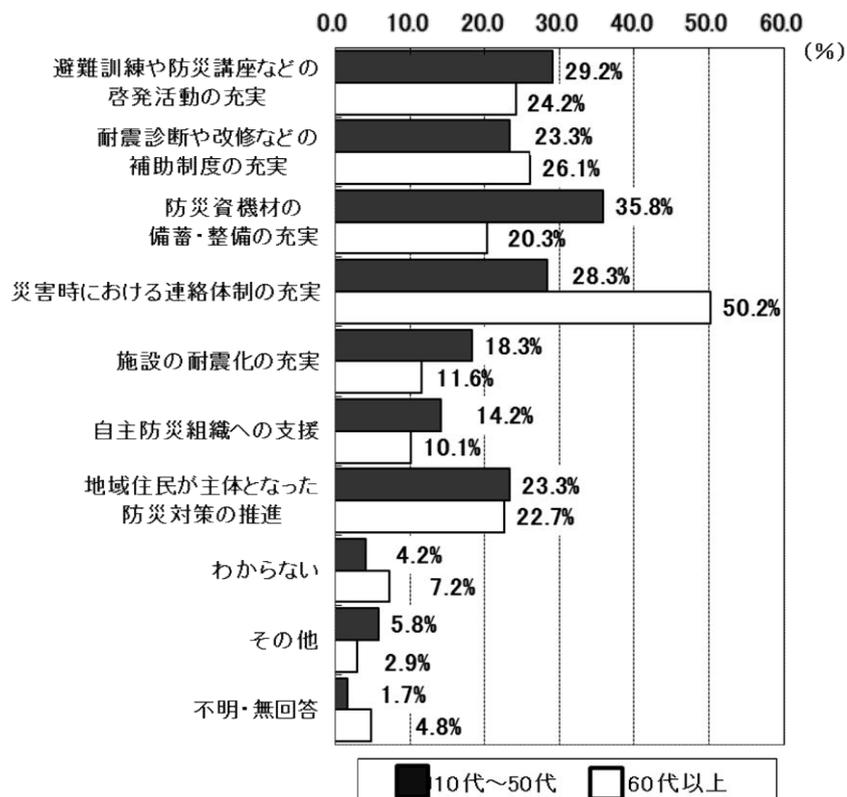
問 18 あなたは、地震や台風など災害により被害を防ぐ取り組みとして、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(複数回答)

地震や台風など災害による被害を防ぐ取り組みとして、「災害時における連絡体制の充実」が 42.1%、「避難訓練や防災講座などの啓発活動の充実」と「防災資機材の備蓄・整備の充実」がともに 26.2%となっています。



問 18×年代

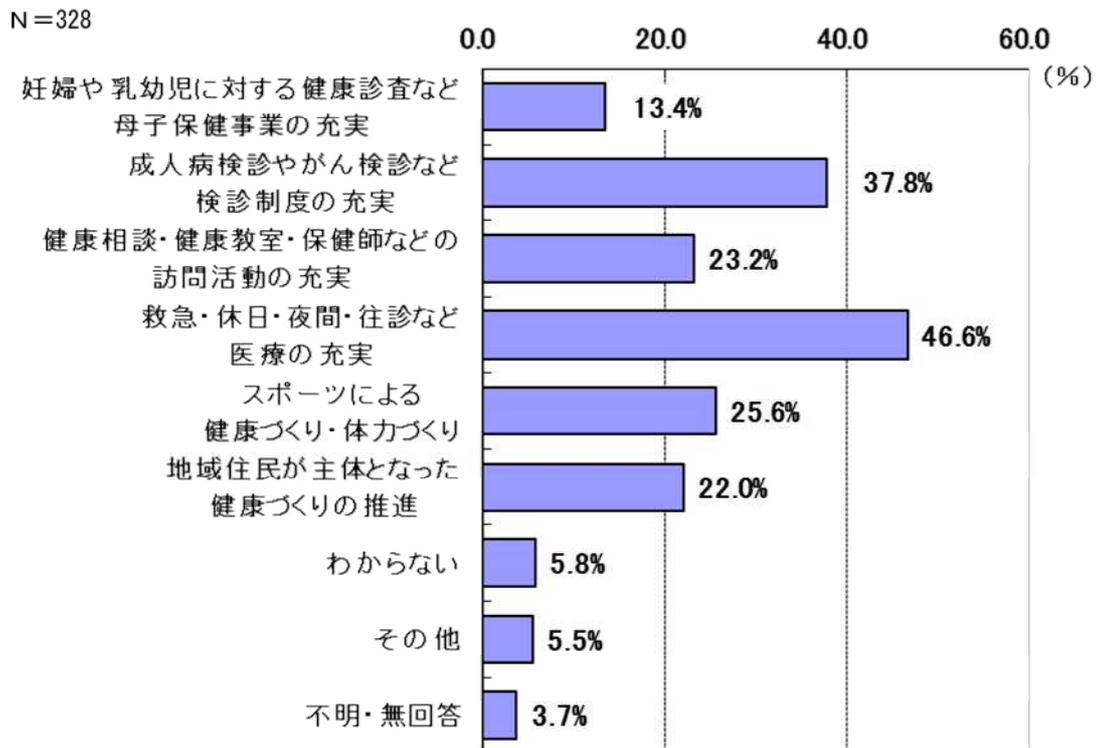
災害による被害防止策を年代別に見ると、「防災資機材の備蓄・整備の充実」や「施設の耐震化の充実」などでは「10～50代」が、「耐震診断や改修などの補助制度の充実」や「災害時における連絡体制の充実」では「60代以上」の割合が高く、年代による差が見られます。



【健康づくり】

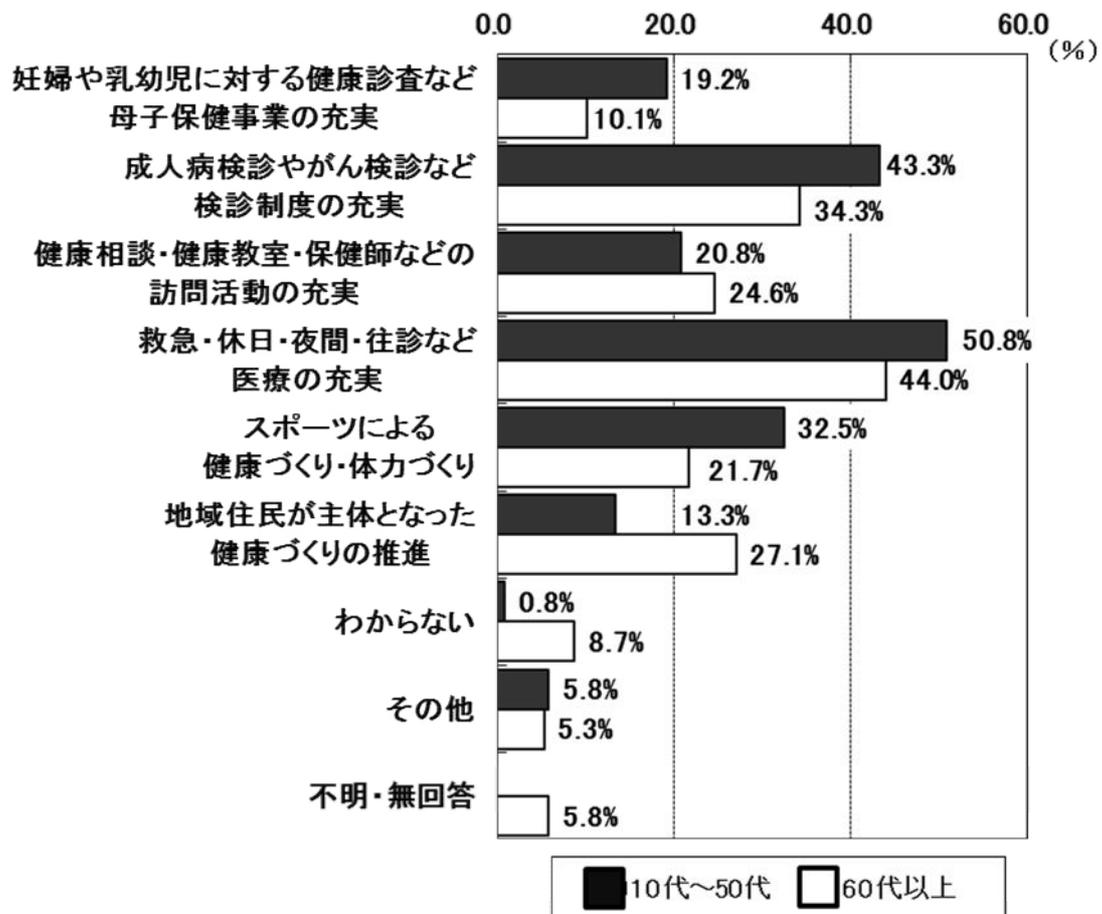
問 19 あなたは、健康づくりを充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(複数回答)

健康づくりの充実策として、「救急・休日・夜間・往診など医療の充実」が46.6%、「成人病検診やがん検診など検診制度の充実」が37.8%、「スポーツにより健康づくり・体力づくり」が25.6%となっています。



問 19×年代

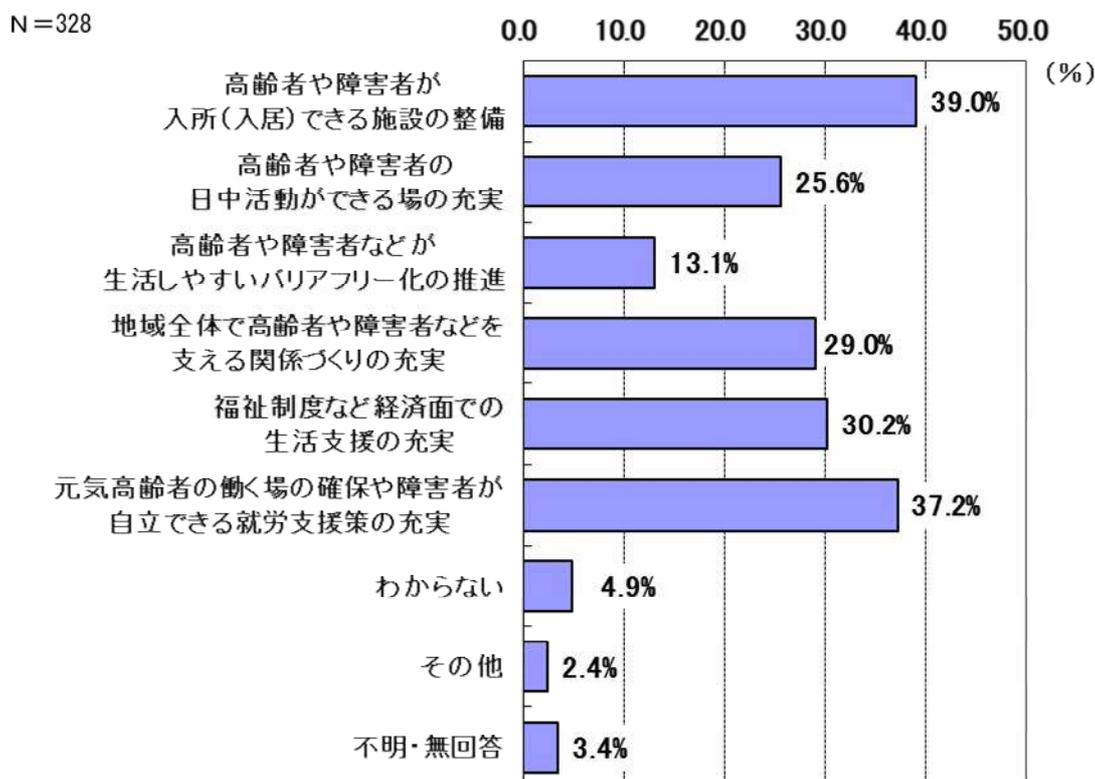
健康づくりの充実策を年代別に見ると、「救急・休日・夜間・往診など医療の充実」や「成人病検診やがん検診など検診制度の充実」は多少の差はあるものの各年代とも割合が高くなっており、「妊婦や乳幼児に対する健康診査など母子保健事業の充実」や「スポーツによる健康づくり・体力づくり」は「10代～50代」の方の割合が高く、「健康相談・健康教室・保健師などの訪問活動の充実」や「地域住民が主体となった健康づくりの推進」は「60代以上」の方が高くなっています。



【福祉】

問 20 あなたは、福祉を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(複数回答)

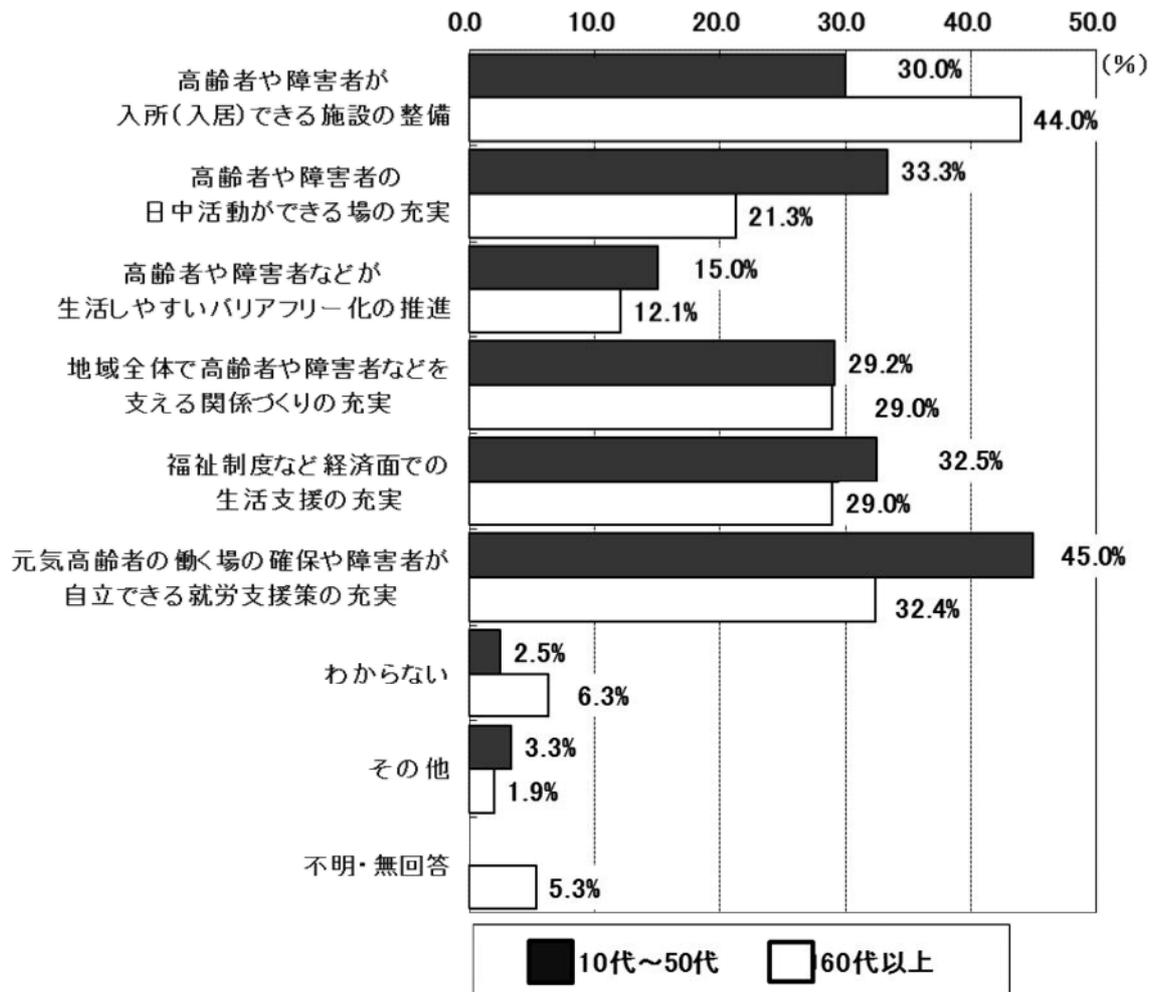
福祉の充実策として、「高齢者や障害者が入所（入居）できる施設の整備」が 39.0%、「元気高齢者の働く場の確保や障害者が自律できる就労支援策の充実」が 37.2%、「福祉制度など経済面での生活支援の充実」が 30.2%となっています。



その他
自宅介護者への支援
家で介護している人にはオムツ代が出ていると聞きましたが、病院に入っている人にも出してください。不公平だと思います。
年金の少ない受給者は入所できないという話を耳にしました
特に痴呆の人の施設！
商売にしてみても？
精神障害者に向けての施設の充実、増設
元気な高齢者でいつづけてもらうために役割を持ってもらえばよい。
上記を決めるのは非常に難しいと思います

問 20×年代

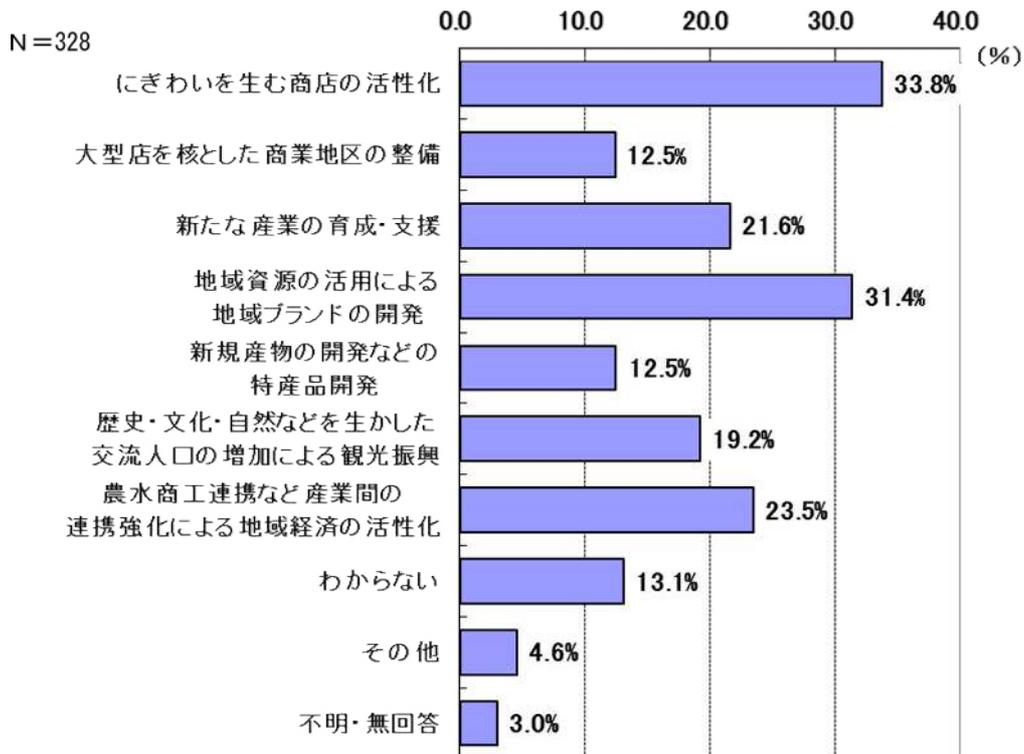
福祉の充実策を年代別に見ると、「高齢者や障害者が入所（入居）できる施設の整備」では「60代以上」の方の割合が高く、「高齢者や障害者の日中活動ができる場の充実」や「元気高齢者の働く場の確保や障害者が自立できる就労支援策の充実」などでは「10代～50代」の方が高く、年代による差が見られます。



【産業振興】

問 21 あなたは、産業振興・活性化のためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。(複数回答)

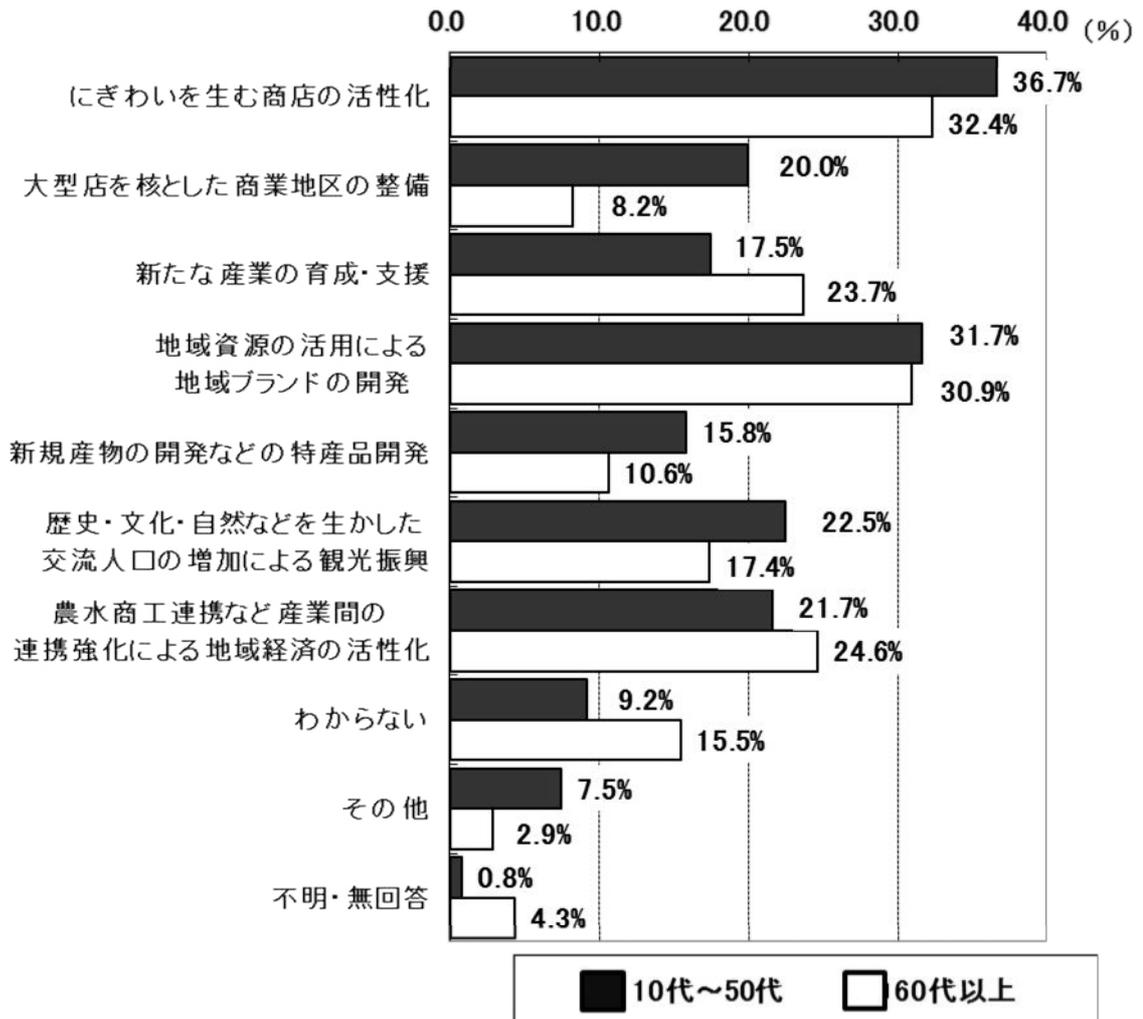
産業振興・活性化策として、「にぎわいを生む商店の活性化」が33.8%、「地域資源の活用による地域ブランドの開発」が31.4%、「農水商工連携など産業間の連携強化による地域経済の活性化」が23.5%となっています。



その他
要は人口が増えなければどうしようもないのでは。”人口が増える為の対策”
上記のいずれも期待出来ないと思う
リスクをとまなう産業の誘致
企業誘致してまずは人口を増やしていけば、すべての産業の活性化に結びつく
名古屋や東京などの大都市のショッピングモールに尾鷲市の特産品コーナーを作る
石炭火力の
他県における連携商業化の充実
サバゲーフィールドの運営
全国への尾鷲のアピールや発信。田舎の駅などをテーマにしたJRのポスターか、尾道市(4あそこも、ただの山と海の田舎町ですよ)みたいな全国への積極アピール
楽しそうと思える何かだと思う。例えば、充実した子ども用の公園で出来れば、他地域から子ども連れがやってきます。よければリピートします。それをあてこんで飲食店などが出来てくれれば「楽しそうな地区」が出来、いろいろ活性化すると考えます。
行政を頼らず各産業、企業の発想と努力が必要。今は企業努力が足りていない。
今までに先人たちが作り、残し、時の中で蓄積され培われてきた良い歴史・自然など、もう一度見つめなおし、今からでは作るにも作れないものなどを”未来を担う子どもたちに!””幅広い世代に!””他県や近隣の地域に!”そうして広めていき、更新していくことが今後の尾鷲市の発展につながると考えます。
そして、二つ目の答えの、『9.その他』これにつきましては、様々な考えなど開発に関わる個々の思いもおありではないかと感じますが、この尾鷲市の産業が大きく発展していくことを望むのであれば、存在価値の低い商品開発は避けるべきだと考えます。「やっぱりあの商品はだめだったなあ。」そんな感覚は今の尾鷲市民にとって時間の無駄。本当に真剣に活性化させたいのであれば携わる方々の意識改革！誰が何のために、どのように活性化させたいか、どこに向かって発信、成功させていこうか、という気持ちの表れが尾鷲市全体の姿勢になり、示されるのではないかと考えます。
昔は大型店の出店は反対でした。町の人は今どう思っているのでしょうか？私は新たな産業の育成、支援をして下さい、と思います。
道の駅は不要。今あるものを整理して、お金ではなく頭をつけてほしい。
商店街の空き家を高齢者や障害者の働く場等に利用する

問 21×年代

産業振興・活性化策を年代別に見ると、「大型店を核とした商業地区の整備」や「歴史・文化・自然などを生かした交流人口の増加による観光振興」などでは「10代～50代」の割合が高く、「新たな産業の育成・支援」や「農水商工連携など産業間の連携強化による地域経済の活性化」では「60代以上」が高くなっており、年代による差が見られます。

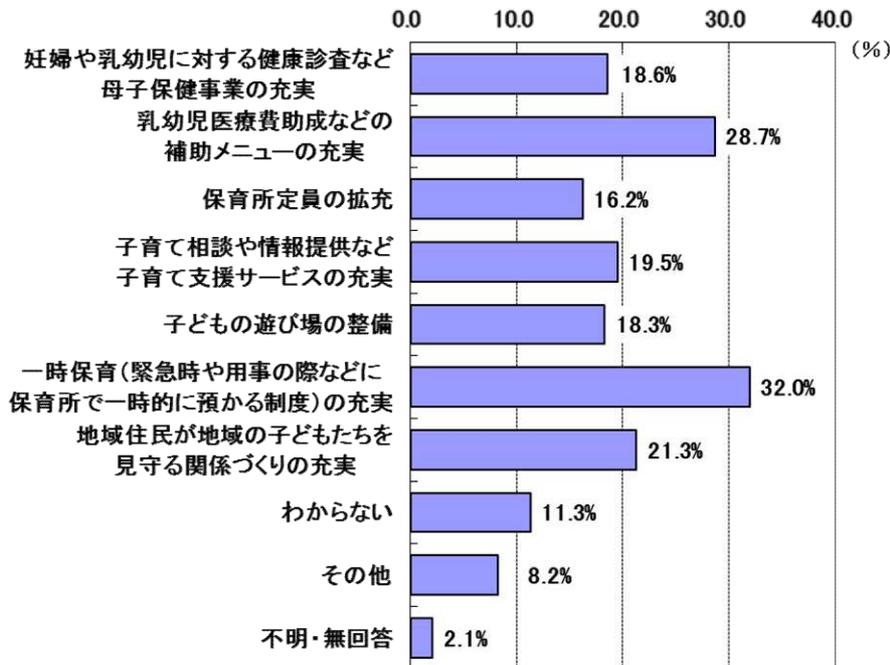


【子育て環境】

問 22 尾鷲市も少子化が重要な課題となっています。あなたは、少子化に対応するにはどのようなことに力を入れるべきだと考えますか。(複数回答)

少子化への対応として、「一時保育(緊急時や用事の際などに保育所で一時的に預かる制度)の充実」が32.0%、「乳幼児医療費助成などの補助メニューの充実」が28.7%、「地域住民が地域の子どもたちを見守る関係づくりの充実」が21.3%となっています。

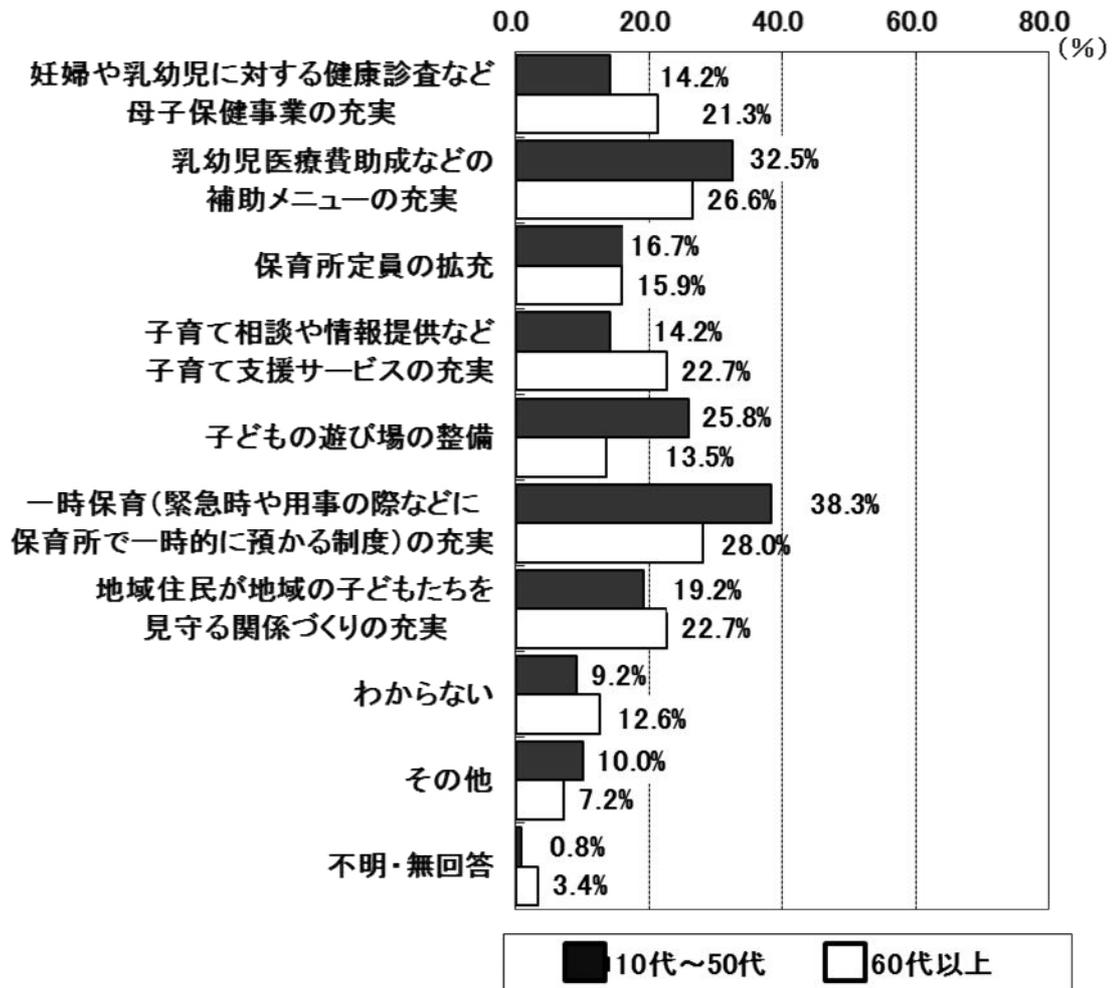
N=328



その他
人口の増加
親達が働く場所の充実
結婚しても何かあった場合、男子が不利な世の中をあらためる
未婚男女が結婚出来る環境の対策
働く場所の確保、海岸と海とのコラボの整備、つり場整備
子供が少なくなり矢浜などは定員を切るのに新しく建てなおすのはおかしい。違う事にお金(税金)を使うべき。
保育園の休日のみなおし
若い夫婦が働ける職場作り
親の就業場所の確保
景気回復すれば、生活にも余裕が出来、子供も産め、育てられる
若い男女の就労場所がないから定住できない。よって地元で子供は増えない
人口減少のため少子化は当然であると思う
産業を発展させ雇用を増やす
子を産むことに対してのメリットがある制度(支援金や保育所等と連携した取組?)
子供2人を大学に進学させる事のできる収入がある職業につく事
保育料を安くすべし
幼稚園へ行かしたい、だけど無理をして働きに出たという声も聞かれる中、一番大切な3歳児に対する幼稚園の対策が出来ていない。(安心して子供を産む歯止めにもなっていないか)
尾鷲で子育てをする魅力がないので、この街でよかったと思えるなにかがほしい
結婚適齢期の人達が将来に対して安心感を抱けるゆとりが大事
若い人に尾鷲に戻ってもらって結婚し定住できるように仕事など考える事だと思う
若い人達の増加を望みます
若者に働く場の提供
女性の働く工場か会社をつくる、無理でしょう
定住・移住してもらおう
別紙での回答
親世代の職場の多様化
病児、病後児の一時保育を早くして欲しい

問 22×年代

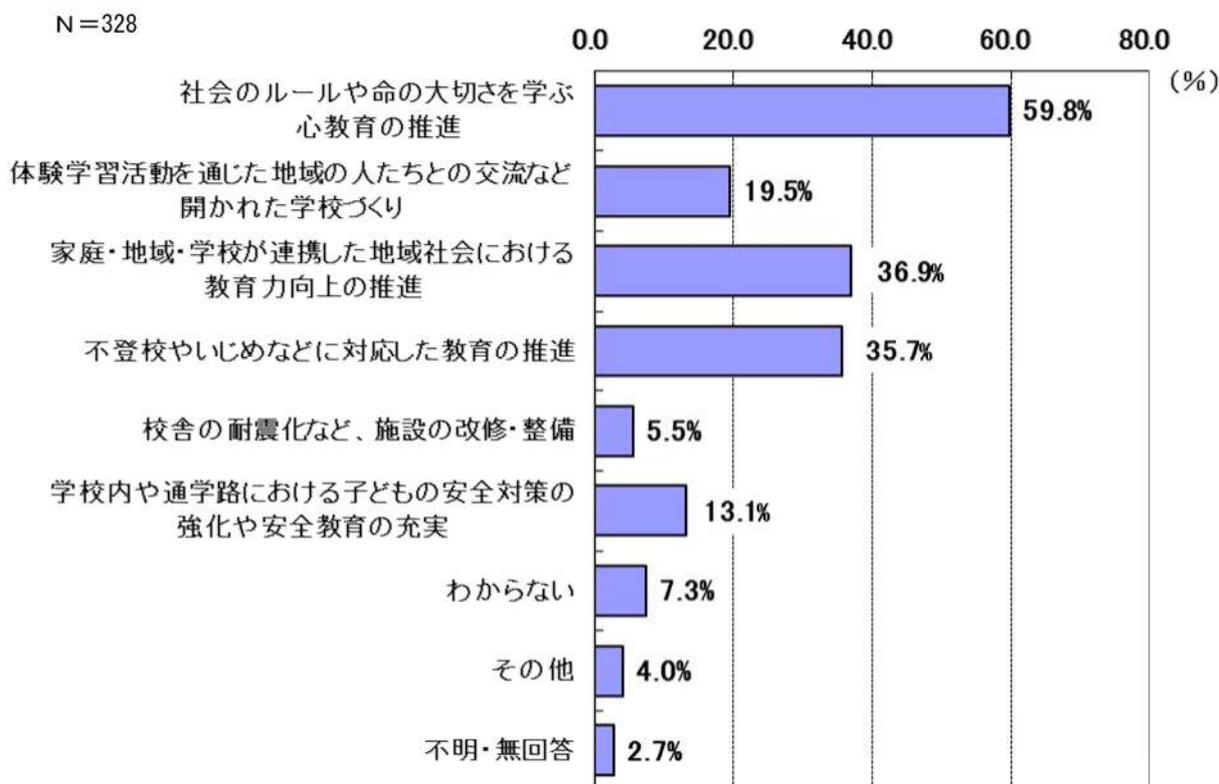
少子化への対応を年代別に見ると、「乳幼児医療費助成などの補助メニューの充実」や「子どもの遊び場の整備」、「一時保育（緊急時や用事の際などに保育所で一時的に預かる制度）の充実」などでは、「10代～50代」の方の割合が高く、「子育て相談や情報提供など子育て支援サービスの充実」や「地域住民が地域の子どもたちを見守る関係づくりの充実」では「60代以上」が高く、年代による差が見られます。



【学校教育】

問 23 あなたは、学校教育を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(複数回答)

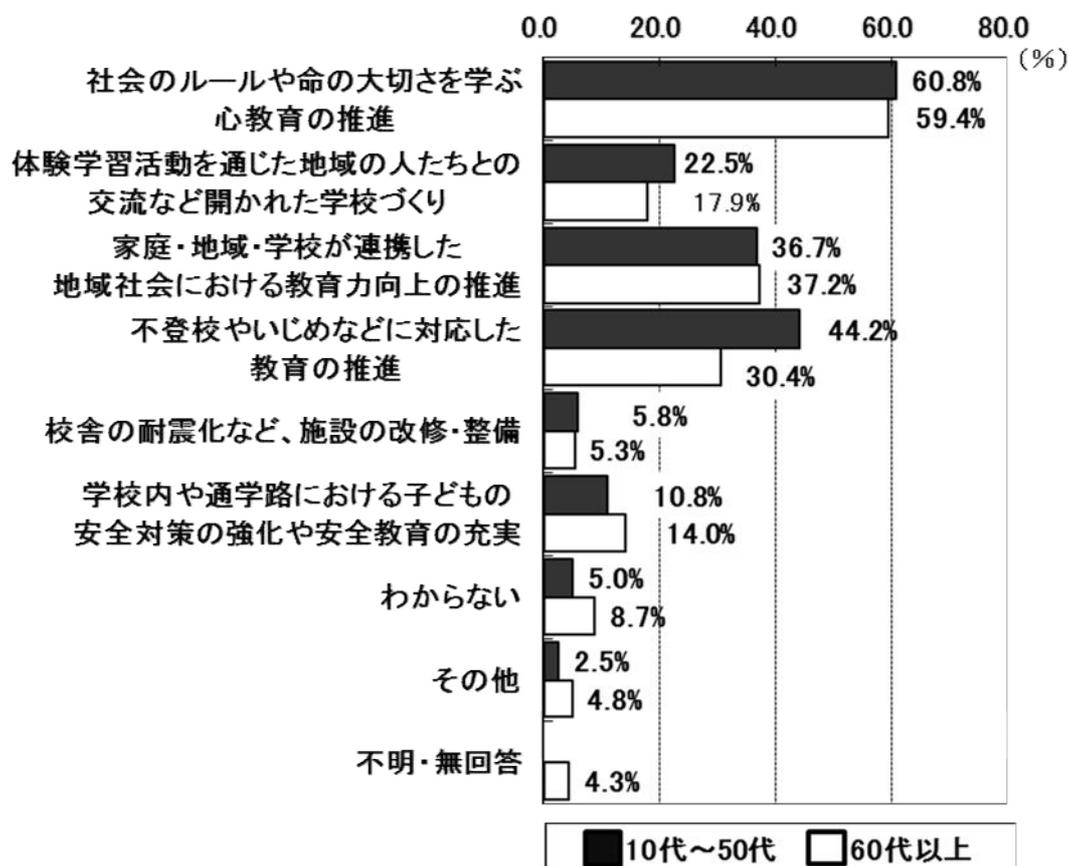
学校教育の充実策として、「社会のルールや命の大切さを学ぶ心教育の推進」が 59.8%、「家庭・地域・学校が連携した地域社会における教育力向上の推進」が 36.9%、「不登校やいじめなどに対応した教育の推進」が 35.7%となっています。



その他
教師の質を高める
教職員への教育・社会教育も含む
耐震化などではなく、少子化が一番問題です。耐震は何年もやっています。少子化で矢浜・向井の親は遊ぶ子がなく悩んでいます。複式学級でかたつけなくてほしい。友達作りをさせたい。
子供が少ないのでいじめ問題にもう少し力を入れてほしい
教師の再教育(暴力を使う教師がおります)
保護者のデジャバリをなくす
教員の充実、少人数学級
家庭・地域・学校の連携にもう一つ教育委員会が加わったものが大切である。教育者の質の向上(教育者によるセクハラは考えられず、教育者に対する教育に問題があるのではないか)。
中学校の学校給食の実施
地域のエゴにとらわれず、適正規模の学校づくり
いじめを見た人、こまめにアンケート、そして取組みを
長島、紀北、尾鷲において学校教師がしっかりしてくれたから(いじめなど少ないと思います。学力が低下している。基礎教育の充実

問 23×年代

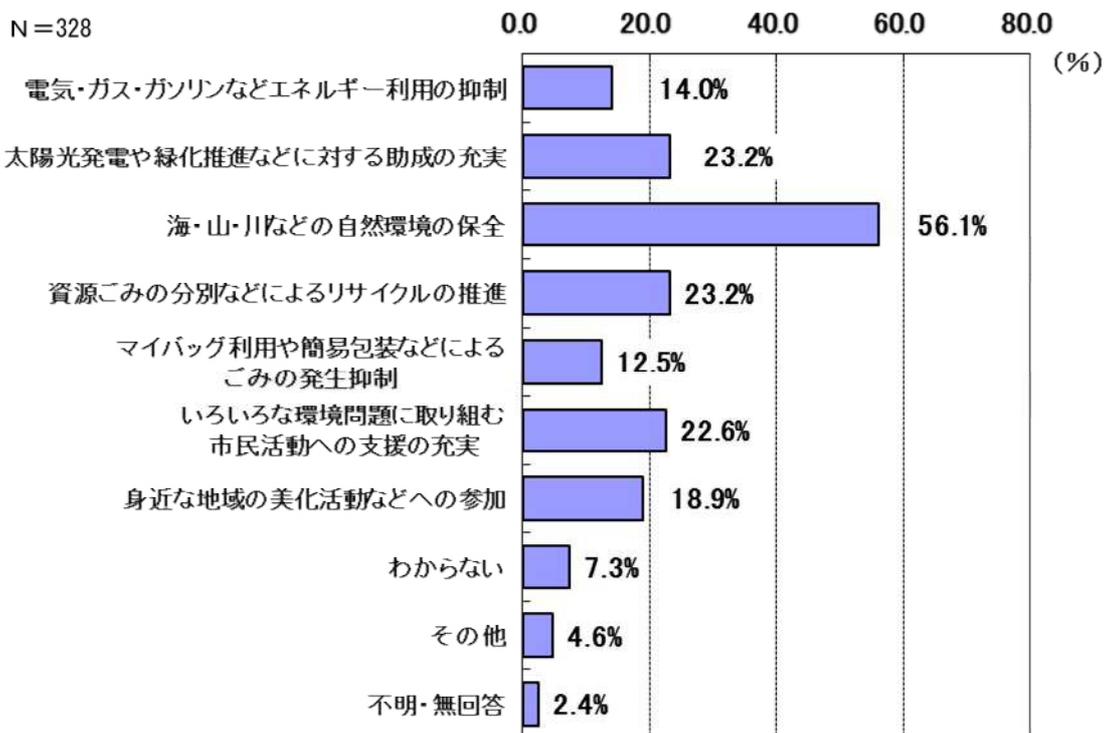
学校教育の充実策を年代別に見ると、各年代とも「社会のルールや命の大切さを学ぶ心教育の推進」や「家庭・地域・学校が連携した地域社会における教育力向上の推進」、「不登校やいじめなどに対応した教育の推進」が上位となっています。



【環境】

問 24 あなたは、環境を良くするためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。
(複数回答)

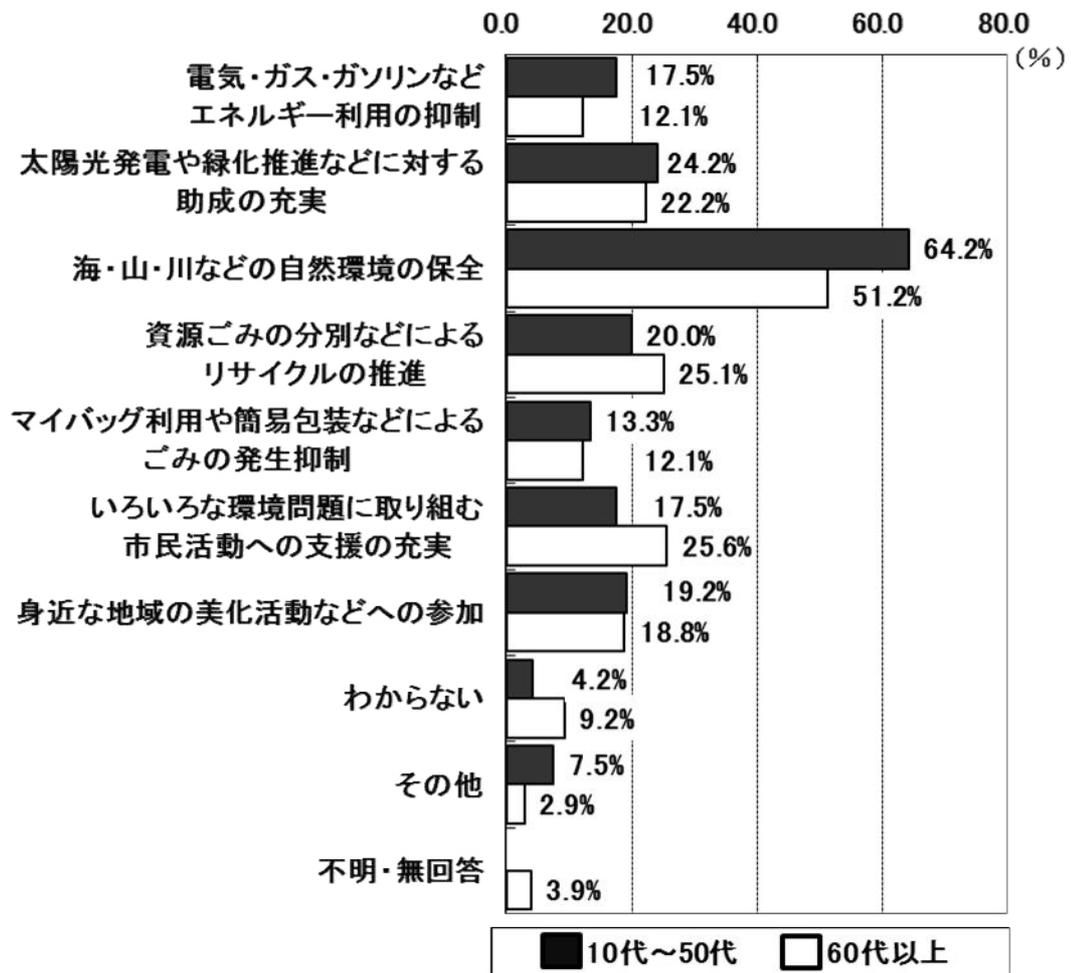
環境を良くする方策として、「海・山・川などの自然環境の保全」が56.1%、「太陽光発電や緑化推進などに対する助成の充実」と「資源ごみの分別などによるリサイクルの推進」がともに23.2%となっています。



その他
無料のごみ回収ステーション及びごみ箱の設置
犬のフンなどの処理、捨てタバコをしない等
溝(ドブ)の消毒の復活
街路樹の整備:特に北川～朝日町間の黒潮道路是最悪。ドライバーの視界の妨げになるだけで、緑を感じさせない。町内から黒潮道路に出る際は恐怖である。
子供の頃からの環境の教育を充分に行う。
自然環境は財産。ムダにしすぎ。
川に犬の糞を放り投げているが立て札くらい作れないのか、又、法律制度も利用しては如何ですか？
他県と尾鷲との環境施策の協働、提案、連携
自動車・自転車のマナー向上による”住環境”の向上
清掃に力を入れる。
ポイ捨てを止めてほしい
道路の整備
全てについて子供の頃から意識付けすること
まず、尾鷲市の数少ない唯一良いところ…。それは、この東西南北に観える自然です。県内外から訪れる観光客などの大半がこの尾鷲の海・山・川を体験しに、味わいに来ていることでしょう。そんな方々、地元の方々にとって重要なのは、もちろん、“自然環境の保全”です。以前、高齢の市民の方からの会話で、「数年前に比べるとあらゆるところの地形が徐々に変化し、それまで棲んでいたものたちが最近みなくなった。」と話を聞きました。尾鷲だけではありませんが、環境をより良くするには目の前にあるポイ捨てされているゴミをひらって捨てる、捨てている人はしてはいけなと意識する、その姿勢を大人が示すことにより、子どもへとつながり町全体、地域全体、市全体が、環境の良い場所になり、そういった意識が自然を壊さない取り組みの第一歩で、保全の第一歩であるのではないかと考えます。バスの本数が少なく、時間の関係、利用者数も限られていることから市民が移動手段で車などを必要とするのは当然だと考えます。太陽光発電などに対する助成が今以上に充実すれば環境的にも経済的にも大変喜ばしいことでしょう。Reduce・Reuse・Recycleに関しましては先程申し上げました、ゴミをちゃんと捨てることから始めれば、自然とできてくることでしょう。美化活動・環境問題への支援をしていくことが今後の尾鷲市全体の地域環境の改善につながることでしよう。
ゴミゼロへの取組、効率的な分別の見直し

問 24×年代

環境を良くする方策を年代別に見ると、各年代ともに「海・山・川などの自然環境の保全」が最も高く、「電気・ガス・ガソリンなどエネルギー利用の抑制」や「太陽光発電や緑化推進などに対する助成の充実」などでは「10代～50代」が高く、「資源ごみの分別などによるリサイクルの推進」や「いろいろな環境問題に取り組む市民活動への支援の充実」では「60代以上」が高くなっています。



【市民意見の反映】

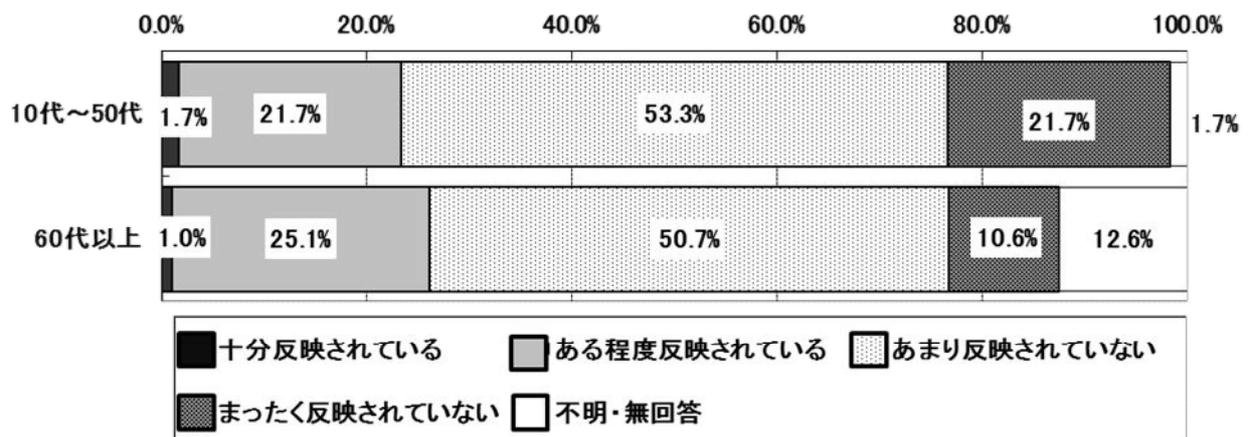
問 25 あなたは、現在の市政に市民の意向がどの程度反映されていると考えていますか。

市政への市民意向の反映状況として、「あまり反映されていない」が51.5%、「まったく反映されていない」が14.9%と、合計で6割以上が「反映されていない」と回答しています。



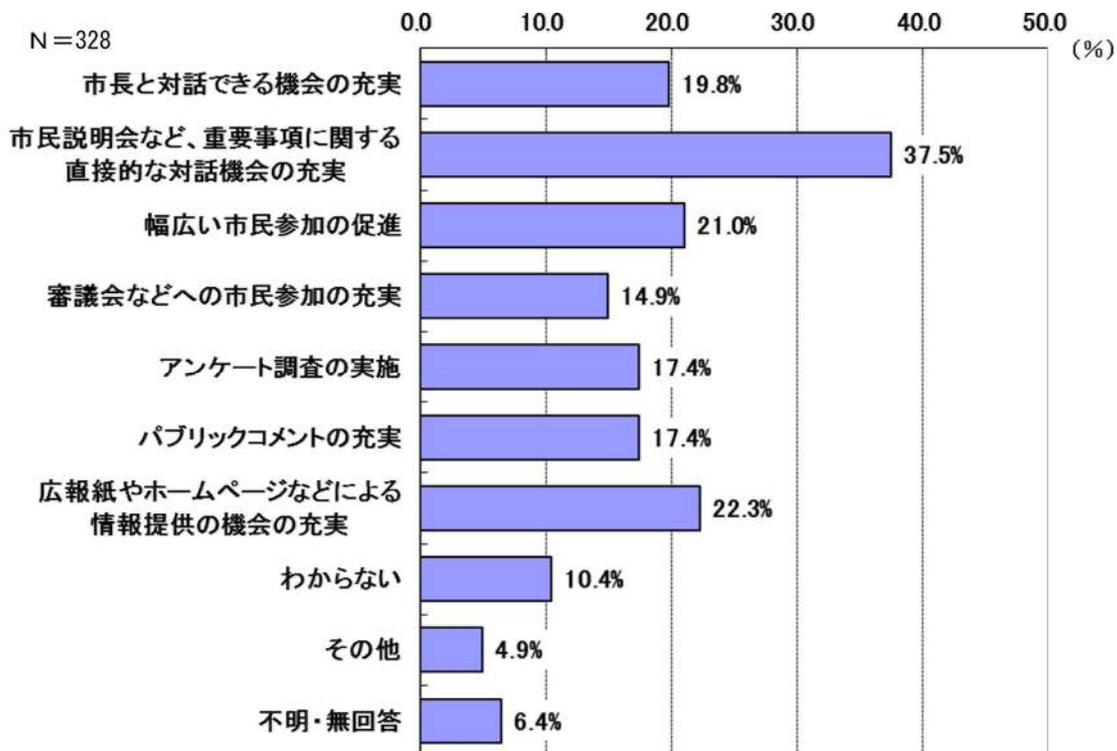
問 25×年代

市政への市民意向の反映状況を年代別に見ると、「あまり反映されていない」「まったく反映されていない」の合計が、「10代～50代」では7割以上、「60代以上」では約6割となっています。



問 26 あなたは、できるだけ多くの市民の意向を市政に反映させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。(複数回答)

市民意向を市政に反映させる方策として、「市民説明会など、重要事項に関する直接的な対話機会の充実」が 37.5%、「広報紙やホームページなどによる情報提供の機会の充実」が 22.3%、「幅広い市民参加の促進」が 21.0%となっています。

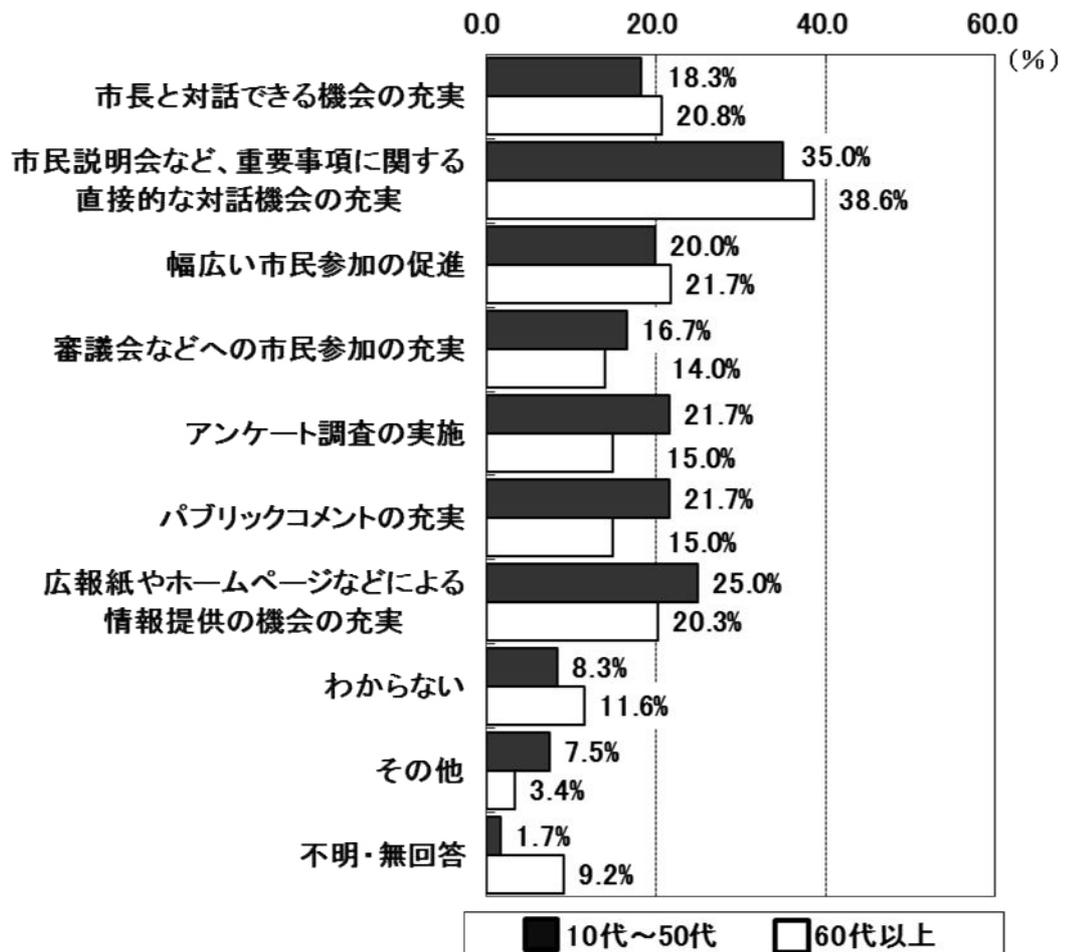


その他
サラリーマン化した市議員が多すぎる
ケーブルテレビでの議会の放映
強いものの意見ばかりきくのをやめる
市議の充実(市長との対話。各種報告会一切必要なし)
議員の質の向上
市長を交替した方がよい
人材の見極め
市民参加型の意見交換会を開く場合、妙に片寄った意見を長々と演説する方々をサクサクと切りさばき、時間の浪費を防いでくださる司会(議長)系の登場を切望します。
アンケート調査は続けて下さい
地元紙で充分わかっています
市民の意思で開いてないでしょ?
民主的な言論の自由が「うるさい人」「文句言う人」と負の発言にならないように関係者の態度を改める
尾鷲市民と他県の市民との意見交換、市政以外からの意見
市民の意向が必ずしも正しいとは限らないが、市民が納得できる市政をしてほしい。
ネットを活用した意見募集、老人にも使いやすいスマートホンなどを配る
市の将来が見えない。どの様に市をもっていくのか、具体的に見えない。

問 26×年代

市民意向を市政に反映させる方策を年代別に見ると、各年代ともに「市民説明会など、重要事項に関する直接的な対話機会の充実」が最も高くなっています。

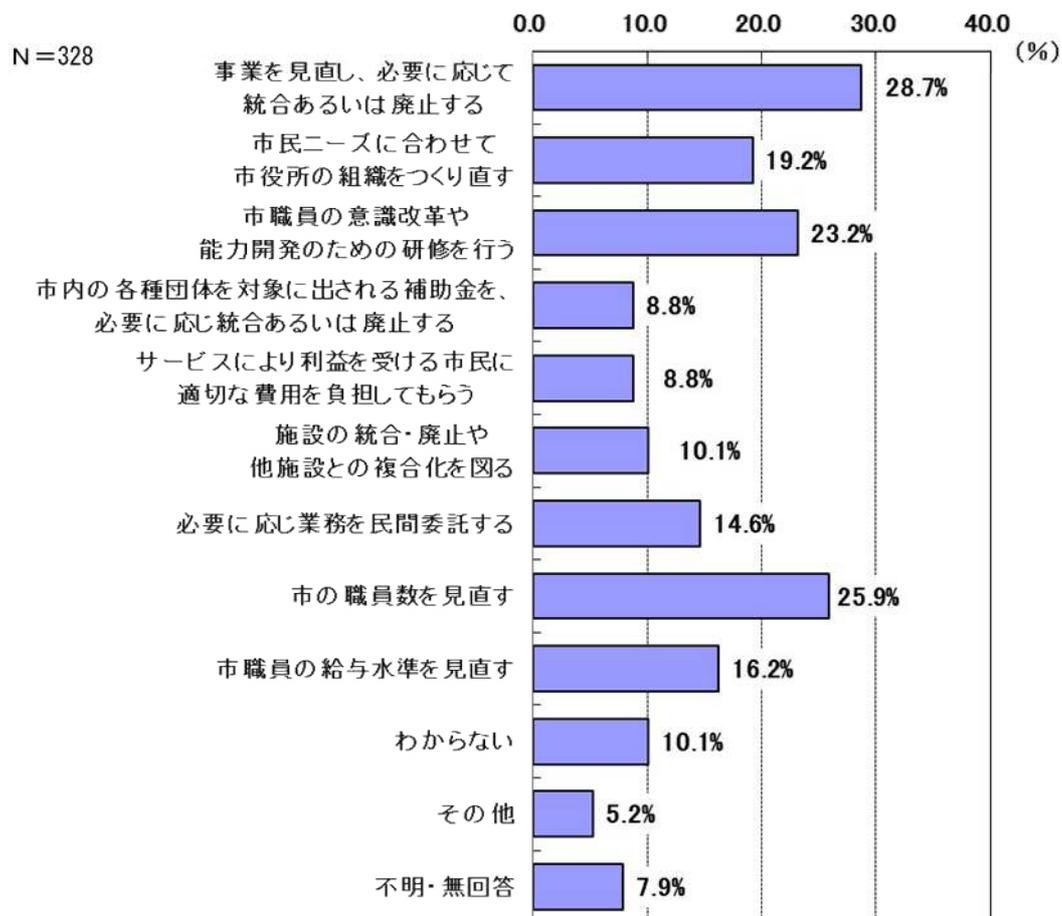
「審議会などへの市民参加の充実」や「アンケート調査の実施」などでは「10代～50代」の方の割合が高く、「市長と対話できる機会の充実」や「幅広い市民参加の促進」では「60代以上」の割合がやや高くなっており、年代による差が若干見られます。



【行政改革】

問27 あなたは、効果的かつ効率的な行政サービスを提供するためには、どのような方策が必要だと考えますか。(複数回答)

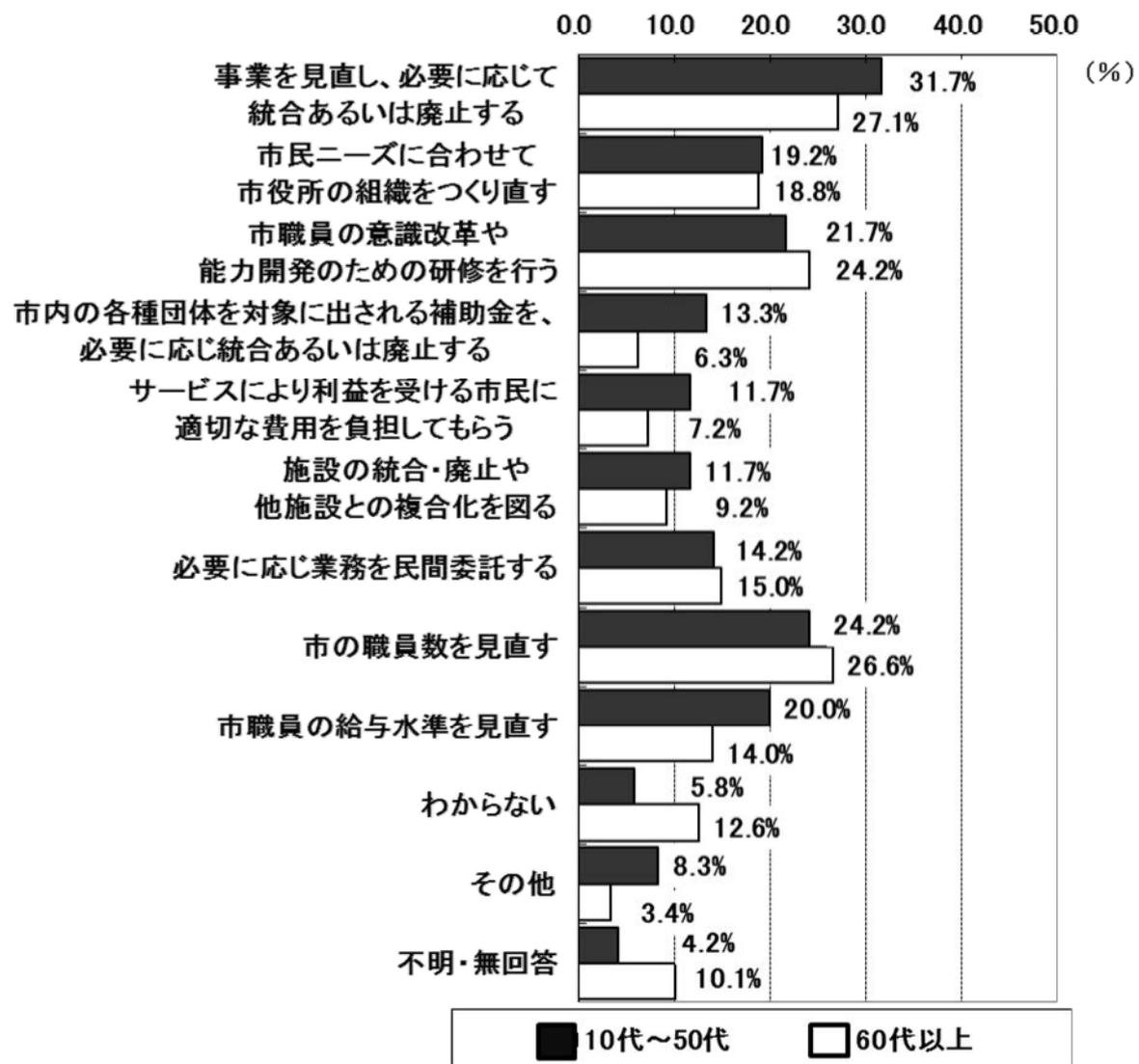
効率的かつ効果的な行政サービスの提供方策として、「事業を見直し、必要に応じて統合あるいは廃止する」が28.7%、「市の職員数を見直す」が25.9%、「市職員の意識改革や能力開発のための研修を行う」が23.2%となっています。



その他
市職員差別、親戚、縁者の優先
市議会議員数を減らす。給与を下げる。
執政官、議会の質の向上
各学校の統合、保育園他の統合
市長と市議会議員の給与を下げる
スクラップアンドビルド。看板の架け替えとなるならばダメ。スクラップを行う際は長が政治判断しなければならないこともあるかと思う。
市長の給与が高額です。私も必死の思いで税金を収めております。一般給与に合わせた金額というておりますが、市の税金を考慮すれば納得できない数字です。大都市名古屋市長よりも多いのはどういふことか。貰えるものシッカリ貰って辞めるつもりか。命の道、道の駅だけでは悲しすぎます。中学校にプール無しも悲しい。
市民の側を向いた政策をとれば？
他県と尾鷲との行政サービスの違い、尾鷲以外からの行政サービスの拡充
人員が多すぎる。人員削減。窓口に行って声をかけても無視や、担当者じゃないと見向きもしない。
4に関連し、各種団体自身が収支バランスがとれるよう指導を実施する
全項目あてはまります！！
前例にこだわりすぎている。他の街の前例になる気持ちを持って対応してほしい。
国が行う補助事業の情報をいち早く察知し、当市に見合う事業の実施、考察に関して調査を実施する係の新設をする。各分野、農、水、福祉すべてに実施するようにする。深層水、林業関連についても、他市がすでに行っており、遅れをとった感じである。
職員の対応能力の向上
市議の数、多すぎ。市職員を一家族1人、若者に広く血縁が多すぎる
他の企業での研修

問27×年代

効率的かつ効果的な行政サービスの提供方策を年代別に見ると、「事業を見直し、必要に応じて統合あるいは廃止する」や「市内の各種団体を対象に出される補助金を、必要に応じ統合あるいは廃止する」などでは「10代～50代」が、「市職員の意識改革や能力開発のための研修を行う」や「市の職員数を見直す」などでは「60代以上」の割合が高く、年代による差が見られます。



4. 暮らしの満足度と今後の重要度について

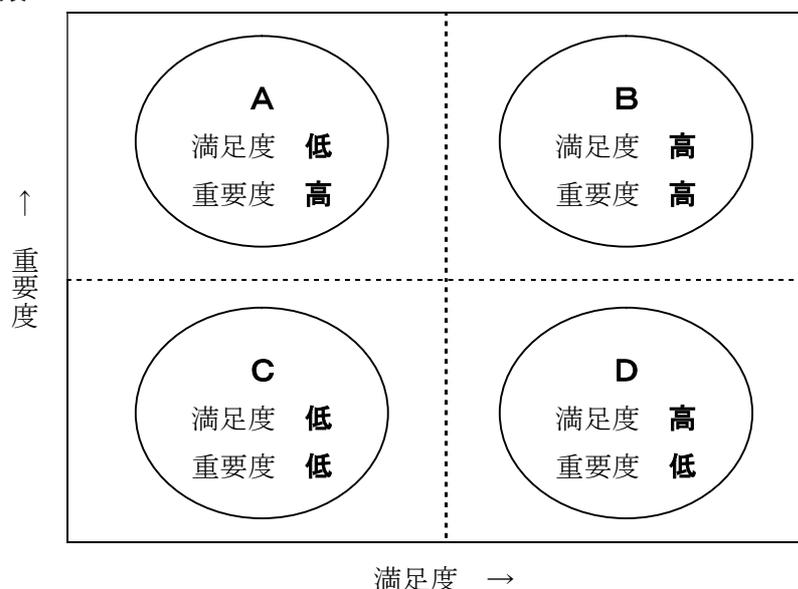
問28 市が実施している取り組みやサービスについて、現在の「満足度」と今後の「重要度」をお聞かせください。

満足度の点数化については、「満足」=5点、「どちらかといえば満足」=4点、「普通」=3点、「どちらかといえば不満」=2点、「不満」=1点として、「わからない」「不明・無回答」を除く件数で除したものです。

重要度の点数化については、「重要」=5点、「どちらかといえば重要」=4点、「普通」=3点、「どちらかといえば重要でない」=2点、「重要でない」=1点として、「わからない」「不明・無回答」を除く件数で除したものです。

市の取り組みやサービスの分野 37 項目について、上記の基準で点数化し、散布図に落とし込みました。

■結果の分類



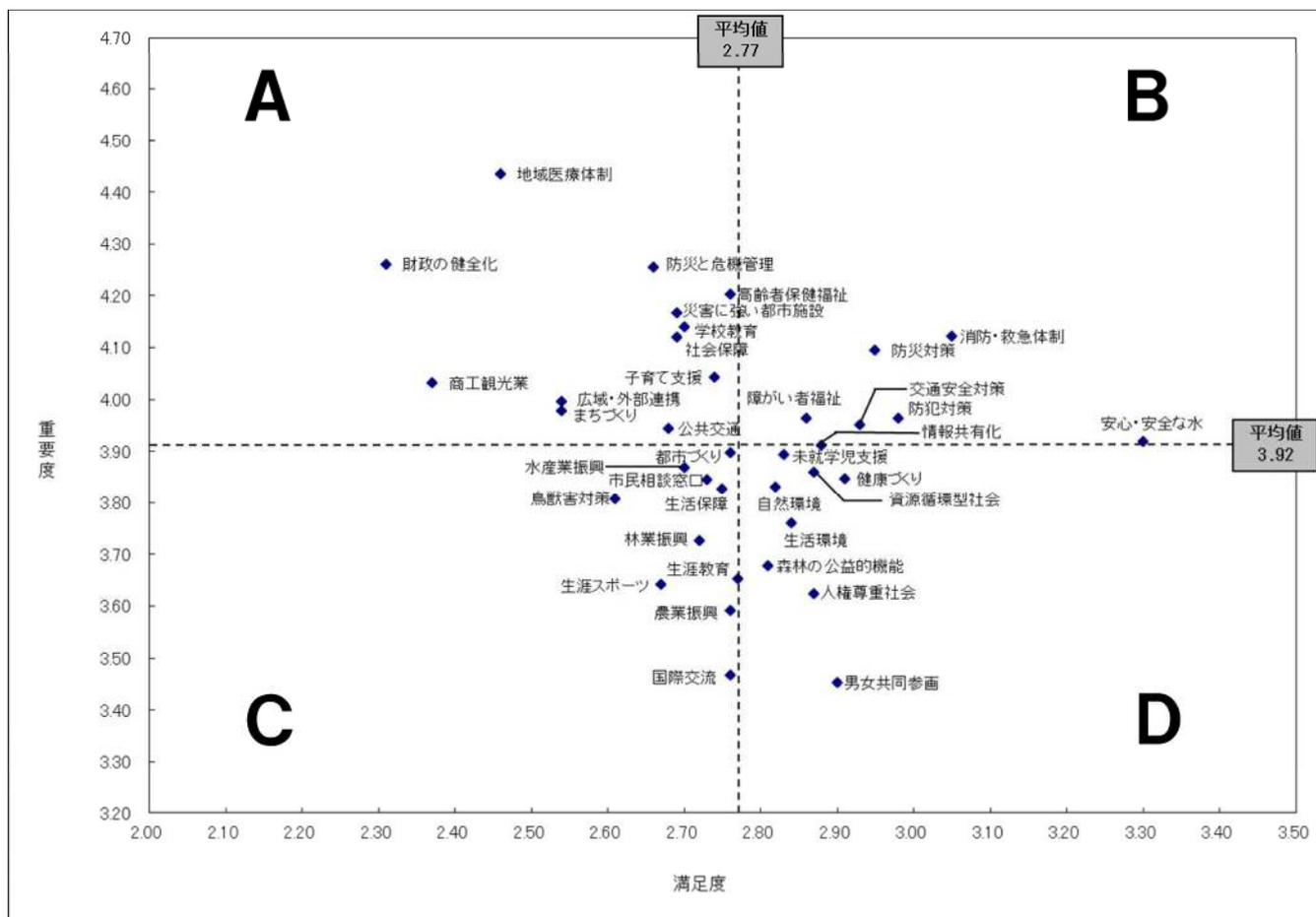
領域	説明
A	重要度が高いにも関わらず、満足度が低く、優先して充実が求められている項目
B	満足度も重要度も高いため、継続して充実する必要がある項目
C	満足度も重要度も低いため、他の項目の優先順位を勘案しながら、満足度を向上していくべき項目
D	満足度は高く、重要度が低いため、今後場合によっては満足度の低い他の項目へ優先順位をシフトしていくことを検討する必要がある項目

※上記の領域については、あくまで 37 項目の中の相対的な位置関係を示すために便宜上設定した分類であるため、A～Dは絶対的な区分ではありません。

■満足度・重要度の散布図

満足度と重要度の散布図について、「地域医療体制」「財政の健全化」「商工観光業振興」などがAの領域に分類され、今後優先して充実することが求められている項目となります。

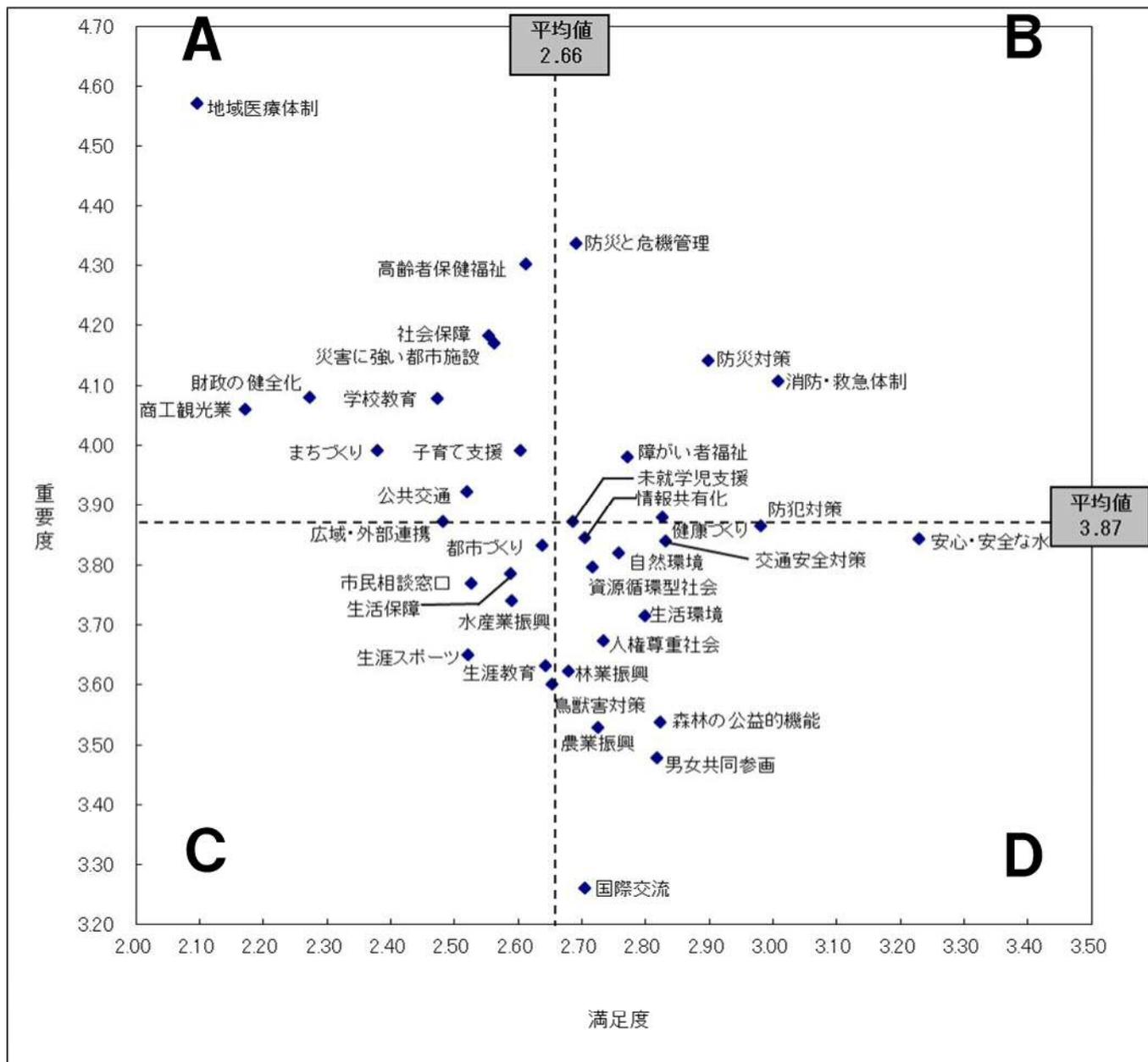
一方で、「男女共同参画の推進」「人権尊重社会」「自然環境」などがDの領域に分類されています。



■満足度・重要度の散布図（10代～50代）

10代～50代の満足度と重要度の散布図について、全体と概ね同様の傾向となっていますが、平均値は満足度、重要度ともに全体よりもやや低くなっています。

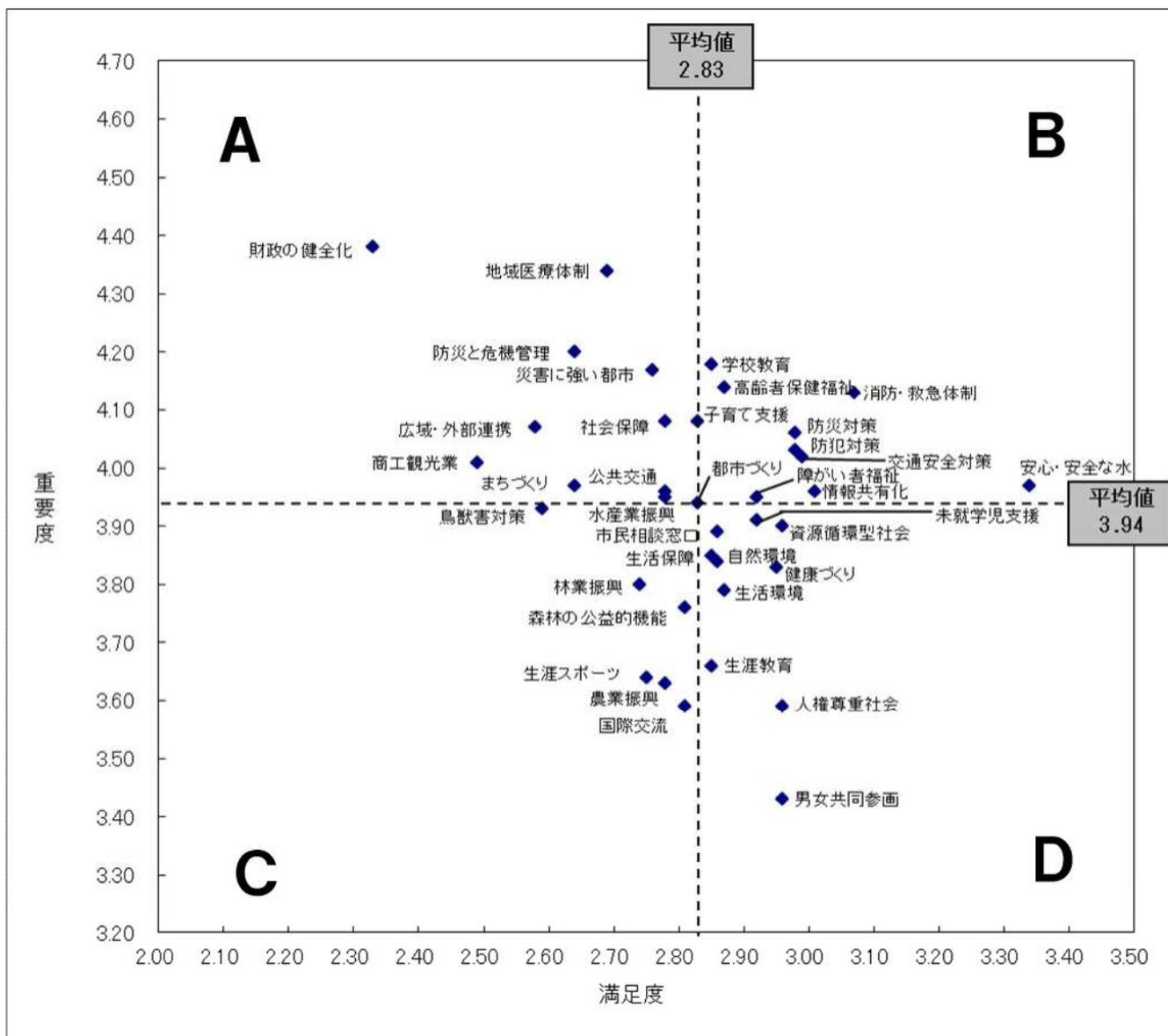
また、全体との比較では、「交通安全」と「安心・安全な水」がBの領域からDの領域へ、「林業振興」と「農業振興」がCの領域からDの領域へと移動しています。



■満足度・重要度の散布図（60代以上）

60代以上の満足度と重要度の散布図について、全体と概ね同様の傾向となっていますが、平均値は満足度、重要度ともに全体よりも高くなっています。

また、全体との比較では、「高齢者保健福祉」や「学校教育」がAの領域からBの領域へ、「市民相談窓口」と「生活保障」がCの領域からDの領域へ移動するなどの変化が見られます。



■満足度・重要度一覧

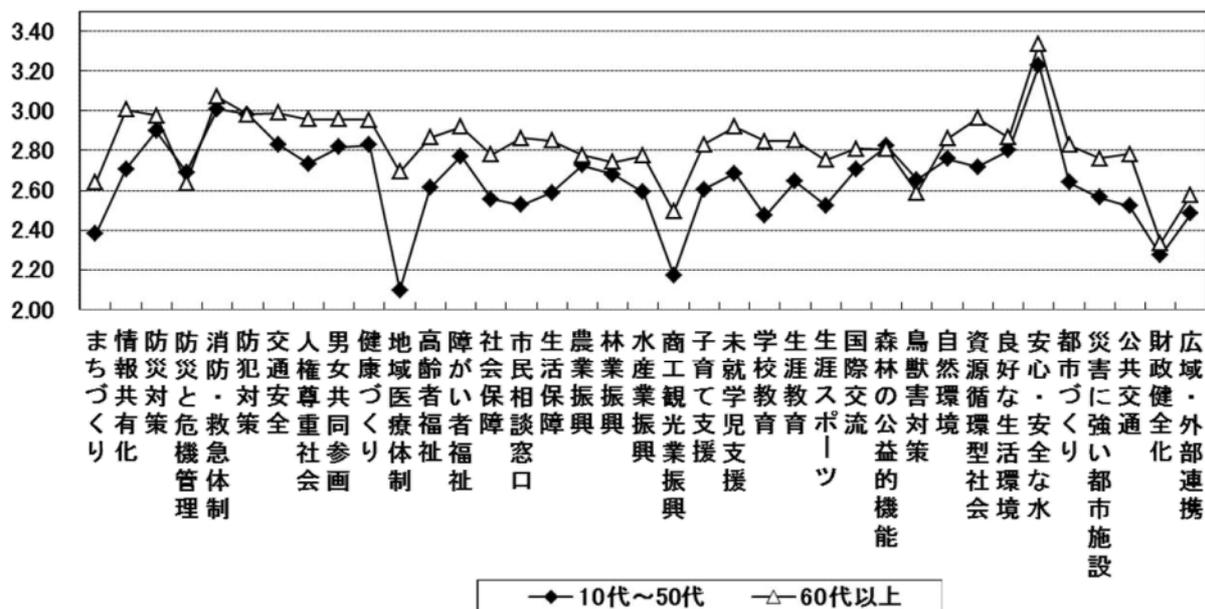
	満足度	重要度
(1) 市民参加によるまちづくり 地域課題を解決するため、共に話し合い、活動している取り組みなど	2.54	3.98
(2) 情報共有化 広報紙、市ホームページなどによる行政情報の提供など	2.88	3.91
(3) 市民参加による防災対策 防災体制づくりの自立的・持続的な取り組みや、安全で安心な取り組みなど	2.95	4.09
(4) 防災と危機管理 土砂災害や雨水浸水などに対応できる都市基盤、避難場所、防災情報の提供、自主防災組織の整備、広域自治体間協力など	2.66	4.26
(5) 消防・救急体制 火災や地震災害等における消火・救急・救助活動確保のための人員体制及び車両・資機材の整備、また、応急手当の普及講習、消防団との連携など	3.05	4.12
(6) 防犯対策 犯罪の不安を感じる事のない安全で安心な取り組みなど	2.98	3.96
(7) 交通安全 交通安全意識が高まり、交通事故に遭わない、交通事故が起きない取り組みなど	2.93	3.95
(8) 人権尊重社会 人権に関する学習会や人権相談など、一人ひとりが互いに人権を尊重し合う取り組みなど	2.87	3.62
(9) 男女共同参画の推進 性別にとらわれず、それぞれのライフスタイルや価値観を尊重し合う取り組みなど	2.90	3.45
(10) 健康づくり ライフステージに応じた健康づくり事業、母子保健事業・介護予防事業など	2.91	3.85
(11) 地域医療体制 尾鷲総合病院の診療体制や設備、地域内の医院・診療所など	2.46	4.43
(12) 高齢者保健福祉 いつまでも元気に社会のなかで活躍し、介護が必要となっても住み慣れた地域で暮らすことができる取り組みなど	2.76	4.20
(13) 障がい者福祉 自立支援などの福祉サービスにより、住み慣れた地域で暮らせる取り組みなど	2.86	3.96
(14) 社会保障の確保 安心して生活ができる、社会保障制度が健全に運営される取り組みなど	2.69	4.12
(15) 市民相談窓口の確保 必要ときに適切な相談を受けることができる取り組みなど	2.73	3.84
(16) 生活保障の確保 必要ときに適切な支援を受けることができる取り組みなど	2.75	3.83
(17) 農業振興 さまざまな形態の農業活動が行われ、農地の保全・管理、活用がされる取り組みなど	2.76	3.59
(18) 林業振興 経営基盤が強化され、施業を継続的に実施できる取り組みなど	2.72	3.73
(19) 水産業振興 水揚げ量の拡大、生産体系の見直しや生産性及び付加価値の向上により、水産業が持続できる取り組みなど	2.70	3.87
(20) 商工観光業振興 活発な産業活動により、魅力ある雇用の場が創出される取り組みなど	2.37	4.03
(21) 子育て支援 保育サービス、子育てに関する相談体制や情報提供、放課後の子どもの安全な活動場所などの環境づくりなど	2.74	4.04
(22) 未就学児支援 未就学児が健やかに成長できる取り組みなど	2.83	3.89
(23) 学校教育 一人ひとりの個性や能力を伸ばし、確かな学力、豊かな心、健康な体づくりにより、笑顔いっぱいの子どもを育む取り組みなど	2.70	4.14
(24) 生涯教育の推進 文化・生涯学習を行うための設備の管理、その指導者の育成支援など	2.77	3.65
(25) 生涯スポーツの推進 年齢、体力、好みに応じて多くのスポーツに触れ、楽しくスポーツが親しめる取り組みなど	2.67	3.64
(26) 国際交流の推進 多様な交流ができ、国際感覚豊かな人づくりがされる取り組みなど	2.76	3.47
(27) 森林の公益的機能 適正に管理・保全され、森林の公益的機能が確保される取り組みなど	2.81	3.68

(28) 鳥獣害対策の推進 野生鳥獣との共生を図り、鳥獣害が発生しない取り組みなど	2.61	3.81
(29) 自然環境 自然環境や生態系に配慮し、良好な自然が残る取り組みなど	2.82	3.83
(30) 資源循環型社会の推進 ごみの発生抑制・再使用・再生利用が進んだ、環境に負荷をかけない取り組みなど	2.87	3.86
(31) 良好な生活環境の保全 環境負荷を低減し、快適な生活が営める取り組みなど	2.84	3.76
(32) 安全・安心な水の確保 安全で安心な水が安定供給される取り組みなど	3.30	3.92
(33) 都市づくり 安心して暮らせる都市基盤が整備される取り組みなど	2.76	3.90
(34) 災害に強い都市施設 災害に強い都市施設により、安心して快適に暮らせる取り組みなど	2.69	4.17
(35) 公共交通 安全で利便性が高く、環境にやさしい公共交通により快適に暮らし、移動ができる取り組みなど	2.68	3.94
(36) 財政の健全化 行政組織のスリム化などの構造改革、財政運営の見直し、職員の意識改革を行い、持続可能な行政体質への変革を図るなど	2.31	4.26
(37) 広域・外部連携の推進 近隣市町や産学官の連携、共創による新たなまちづくりがされる取り組みなど	2.54	4.00
平均	2.77	3.92

■満足度×年代

満足度について年代別に見ると、ほとんどの項目で「60代以上」の方が高い割合となっていますが、「防災と危機管理」「森林の公益的機能」「鳥獣害対策」では「10代～50代」の方が高くなっています。

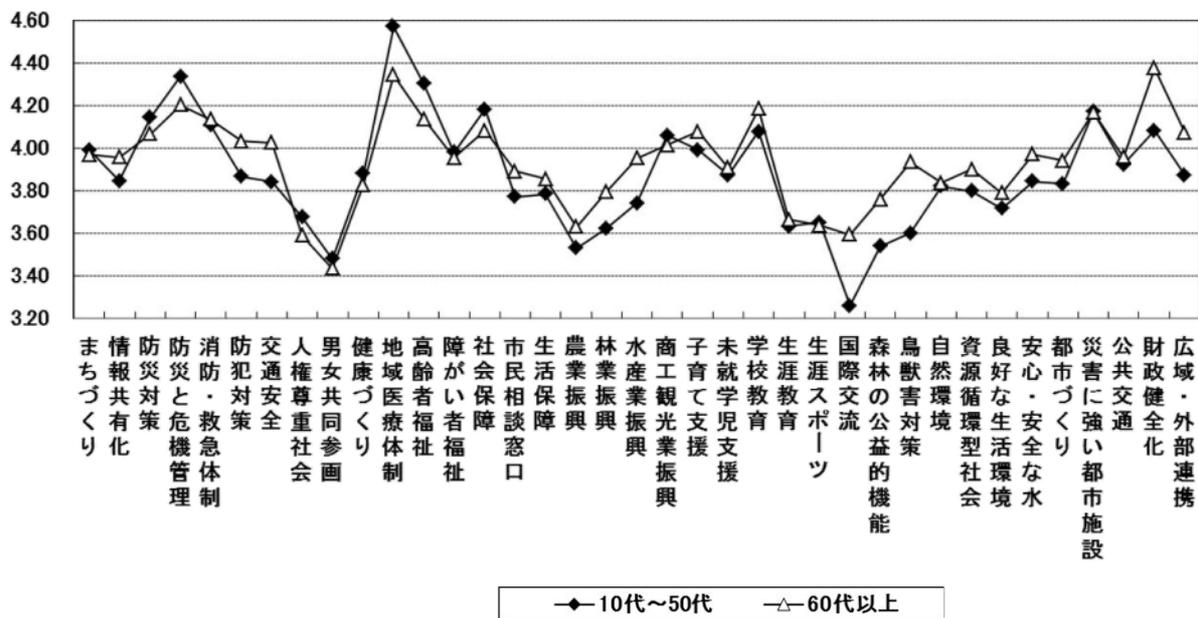
また、「地域医療体制」や「学校教育」などでは、年代によって大きな差が見られます。



■重要度×年代

重要度について年代別に見ると、大きな傾向の差はほとんど見られず、重要と思う項目は年代に関わらず共通しているという結果になりました。

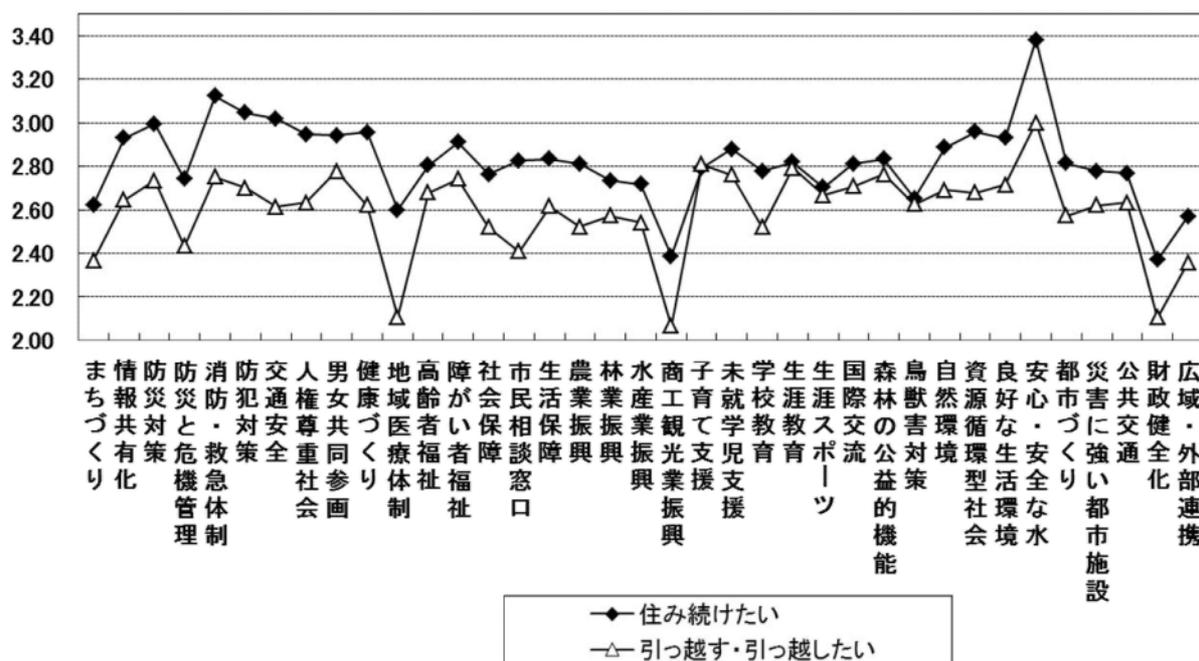
「国際交流」や「財政健全化」などでは、「60代以上」の方がやや高くなっています。



■満足度×定住意向

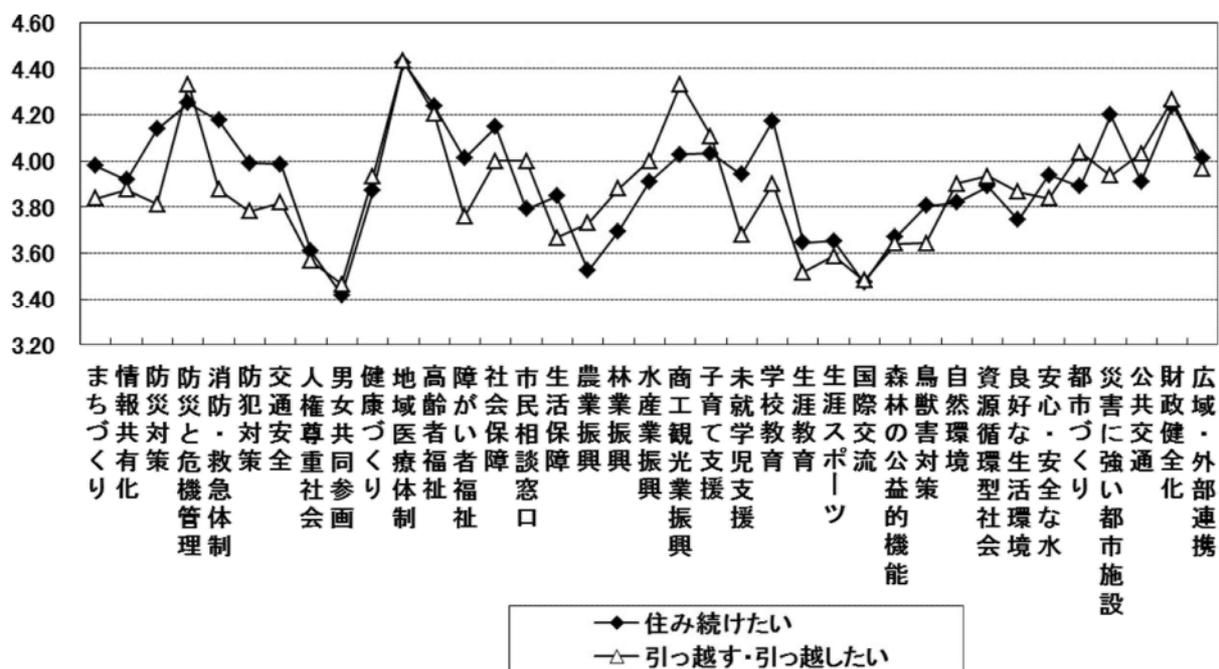
満足度について定住意向別に見ると、ほとんどの項目で「住み続けたい」を選んだ方が高い割合となっていますが、「子育て支援」では、「引っ越す・引っ越したい」を選んだ方のほうが高くなっています。

また、「地域医療体制」「安心・安全な水」などでは、定住意向によって大きな差が見られます。



■重要度×定住意向

重要度について定住意向別に見ると、大きな傾向の差は見られないものの、「防災対策」や「学校教育」「災害に強い都市施設」などで「住み続けたい」を選んだ方の割合が高くなっており、「防災と危機管理」や「商工観光業振興」などでは「引っ越す・引っ越したい」を選んだ方の割合が高くなって います。



III. 調査票

あなた自身のことについておうかがいします

問1 あなたの性別をお聞かせください。(当てはまる番号を選び○で囲んでください。以下の質問も同様です。)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

→ 問2へ

問2 あなたの年齢をお聞かせください。

- | | | | |
|--------|--------|----------|--------|
| 1. 10代 | 2. 20代 | 3. 30代 | 4. 40代 |
| 5. 50代 | 6. 60代 | 7. 70代以上 | |

→ 問3へ

問3 あなたは、尾鷲市のどの地区にお住まいですか。

- | | | |
|----------|----------|-----------|
| 1. 尾鷲地区 | 2. 須賀利地区 | 3. 九鬼早田地区 |
| 4. 北輪内地区 | 5. 南輪内地区 | |

→ 問4へ

問4 あなたの世帯の状況を教えてください。以下のどれに該当しますか。

- | |
|----------------------|
| 1. ひとり暮らし |
| 2. 夫婦のみ |
| 3. 配偶者、子どもと同居 |
| 4. 子どもと同居 |
| 5. 親と同居 |
| 6. 親、子ども、祖父母、孫などとの同居 |
| 7. その他 () |

→ 問5へ

問5 あなたの主な職業をお聞かせください。(複数の場合には主な職業のみお答えください。)

- | | | | |
|-----------------------|-------|--------|------------|
| 1. 農林業 | 2. 漁業 | 3. 自営業 | 4. 会社員・公務員 |
| 5. 自由業 (医師、弁護士、僧侶など) | | | |
| 6. パートタイマー・アルバイト・内職など | | | |
| 7. 家事 (主婦・夫、家事手伝いなど) | | | |
| 8. 学生 | | | |
| 9. 無職 | | | |
| 10. その他 () | | | |

→ 問6へ

問6 あなたが尾鷲市にお住まいになってから何年経過していますか。

- | |
|-------------|
| 1. 1年未満 |
| 2. 1～3年未満 |
| 3. 3～5年未満 |
| 4. 5～10年未満 |
| 5. 10～20年未満 |
| 6. 20年以上 |

→ 問7へ

本市での居住についておうかがいします

問7 あなたは、これからもずっと尾鷲市に住み続けたいとお考えですか。

1. ずっと住み続けたい → 問10へ
2. しばらくの間は住み続けたい → 問10へ
3. 住み続けたいが、引っ越さなければならない(引っ越す可能性がある) → 問8へ
4. いずれは市外に引っ越ししたい → 問9へ
5. すぐにでも引っ越ししたい → 問9へ
6. どちらともいえない → 問10へ

問8 【問7で「3」とお答えになった方におうかがいします。】

引っ越す可能性がある理由は何ですか。以下の選択肢の中からお選びください。

1. 仕事の都合
2. 学業の都合
3. 親族の都合
4. その他 ()

→ 問10へ

問9 【問7で「4」または「5」とお答えになった方におうかがいします。】

市外に引っ越ししたい理由は何ですか。

1. 雇用機会が少ないから
2. 高等教育機関などの進学環境が整っていないから
3. 娯楽・レクリエーション施設が少ないから
4. 各種福祉政策が充実していないから
5. その他 ()

→ 問10へ

問10 あなたは、尾鷲市を全体としてどのようにお考えですか。あなたのお考えに一番近いものをお選びください。

1. 住みよいまちである
2. どちらかといえば住みよいまちである
3. どちらかといえば住みにくいまちである
4. 住みにくいまちである
5. どちらともいえない

→ 問11へ

問11 現在、あなたが不安に感じていることは何ですか。あてはまるもののうち上位2つを選んでください。

1. 老後の不安
2. 子育ての不安
3. 子どもの進学・就職に対する不安
4. 健康面での不安
5. 地震や豪雨、火災などの災害に対する不安
6. 犯罪や交通事故など安全に対する不安
7. 地球温暖化や環境汚染など環境に関する不安
8. 経済的な不安
9. 近所づきあいなど近隣の人間関係に関する不安
10. その他 ()
11. 特に不安はない

→ 問12へ

これからのまちづくりについておうかがいします

問12 あなたは、尾鷲市が将来どのようなイメージのまちになってほしいと思いますか。
あてはまるもののうち上位3つまでお答えください。

1. 交通事故、犯罪などが少なく、安心して生活できるまち
2. 地震や風水害への不安が少なく、安心して生活できるまち
3. 公害や環境破壊が少なく、地球環境にやさしいまち
4. 海や山、川などの自然がたくさん残っているまち
5. 保健・医療・福祉施設が充実し、安心して元気に暮らせるまち
6. 子どもからお年寄りまで安心して元気に暮らせるまち
7. 地域で子どもを育むなど、人と人が関わり、人が育つまち
8. 子どもの教育環境によいまち
9. 働きがいのある職場が多く、活気のあるまち
10. 第一次産業（農林水産業）に活気があり、豊かな地域資源に恵まれたまち
11. にぎわいのある商業施設があり、買い物に便利なまち
12. 観光やレクリエーションのために訪れる人が多いまち
13. 道路、公園などの都市機能が充実しているまち
14. 公共交通などの移動手段が整ったまち
15. 市民主体のまちづくりが活発なまち
16. 将来にわたって健全な財政運営を行うまち
17. わからない
18. その他（)

→ 問13へ

問16 尾鷲市ではこれから、市役所を含む市民みんなで地域の課題を解決するために、目標を共有して、その目標達成のために取り組むことを進めたいと考えています。このことについてあなたはどのように考えますか。

- | | |
|-----------------|-------|
| 1. 推進すべき | →問17へ |
| 2. ある程度推進すべき | →問17へ |
| 3. どちらとも言えない | →問18へ |
| 4. あまり推進すべきではない | →問18へ |
| 5. 推進すべきではない | →問18へ |
| 6. わからない | →問18へ |

問17 【問16で「1」または「2」とお答えになった方におうかがいします。】

市民との協働（問16の設問文の内容）のまちづくりを進めるうえで、あなたは、市がどのようなことに取り組むべきだと考えますか。あてはまるもののうち上位2つまでお答えください。

- | |
|------------------------|
| 1. 市政情報の積極的な提供 |
| 2. 職員の意識改革など市役所の体制整備 |
| 3. 市民が活動しやすいしくみ・ルールづくり |
| 4. 市民と市の意見交換の場の設定 |
| 5. 市民活動の活性化 |
| 6. 市民の協働意識の醸成 |
| 7. わからない |
| 8. その他（) |

→ 問18へ

【安全】

問18 あなたは、地震や台風など災害による被害を防ぐ取り組みとして、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。あてはまるもののうち上位2つまでお答えください。

- | |
|------------------------|
| 1. 避難訓練や防災講座などの啓発活動の充実 |
| 2. 耐震診断や改修などの補助制度の充実 |
| 3. 防災資機材の備蓄・整備の充実 |
| 4. 災害時における連絡体制の充実 |
| 5. 施設の耐震化の充実 |
| 6. 自主防災組織への支援 |
| 7. 地域住民が主体となった防災対策の推進 |
| 8. わからない |
| 9. その他（具体的に) |

→ 問19へ

【健康づくり】

問19 あなたは、健康づくりを充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あてはまるもののうち上位2つまでお答えください。

1. 妊婦や乳幼児に対する健康診査など母子保健事業の充実
2. 成人病検診やがん検診など検診制度の充実
3. 健康相談・健康教室・保健師などの訪問活動の充実
4. 救急・休日・夜間・往診など医療の充実
5. スポーツによる健康づくり・体力づくり
6. 地域住民が主体となった健康づくりの推進
7. わからない
8. その他（具体的に

)

→ 問20へ

【福祉】

問20 あなたは、福祉を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あてはまるもののうち上位2つまでお答えください。

1. 高齢者や障害者が入所（入居）できる施設の整備
2. 高齢者や障害者の日中活動ができる場の充実
3. 高齢者や障害者などが生活しやすいバリアフリー化の推進
4. 地域全体で高齢者や障害者などを支える関係づくりの充実
5. 福祉制度など経済面での生活支援の充実
6. 元気高齢者の働く場の確保や障害者が自立できる就労支援策の充実
7. わからない
8. その他（具体的に

)

→ 問21へ

【産業振興】

問21 あなたは、産業振興・活性化のためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あてはまるもののうち上位2つまでお答えください。

1. にぎわいを生む商店の活性化
2. 大型店を核とした商業地区の整備
3. 新たな産業の育成・支援
4. 地域資源の活用による地域ブランドの開発
5. 新規産物の開発などの特産品開発
6. 歴史・文化・自然などを生かした交流人口の増加による観光振興
7. 農水商工連携など産業間の連携強化による地域経済の活性化
8. わからない
9. その他（具体的に

)

→ 問22へ

【子育て環境】

問22 尾鷲市も少子化が重要な課題となっています。あなたは、少子化に対応するにはどのようなことに力を入れるべきだと考えますか。あてはまるもののうち上位2つまでお答えください。

1. 妊婦や乳幼児に対する健康診査など母子保健事業の充実
2. 乳幼児医療費助成などの補助メニューの充実
3. 保育所定員の拡充
4. 子育て相談や情報提供など子育て支援サービスの充実
5. 子どもの遊び場の整備
6. 一時保育（緊急時や用事の際などに保育所で一時的に預かる制度）の充実
7. 地域住民が地域の子どもたちを見守る関係づくりの充実
8. わからない
9. その他（具体的に)

→ 問23へ

【学校教育】

問23 あなたは、学校教育を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。あてはまるもののうち上位2つまでお答えください。

1. 社会のルールや命の大切さを学ぶ心教育の推進
2. 体験学習活動を通じた地域の人たちとの交流など開かれた学校づくり
3. 家庭・地域・学校が連携した地域社会における教育力向上の推進
4. 不登校やいじめなどに対応した教育の推進
5. 校舎の耐震化など、施設の改修・整備
6. 学校内や通学路における子どもの安全対策の強化や安全教育の充実
7. わからない
8. その他（具体的に)

→ 問24へ

【環境】

問24 あなたは、環境を良くするためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。あてはまるもののうち上位2つまでお答えください。

1. 電気・ガス・ガソリンなどエネルギー利用の抑制
2. 太陽光発電や緑化推進などに対する助成の充実
3. 海・山・川などの自然環境の保全
4. 資源ごみの分別などによるリサイクルの推進
5. マイバッグ利用や簡易包装などによるごみの発生抑制
6. いろいろな環境問題に取り組む市民活動への支援の充実
7. 身近な地域の美化活動などへの参加
8. わからない
9. その他（具体的に)

→ 問25へ

【市民意見の反映】

問25 あなたは、現在の市政に市民の意向がどの程度反映されていると考えていますか。

1. 十分反映されている
2. ある程度反映されている
3. あまり反映されていない
4. まったく反映されていない

→ 問26へ

問26 あなたは、できるだけ多くの市民の意向を市政に反映させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。あてはまるもののうち上位2つまでお答えください。

1. 市長と対話できる機会の充実
2. 市民説明会など、重要事項に関する直接的な対話機会の充実
3. 幅広い市民参加の促進
4. 審議会などへの市民参加の充実
5. アンケート調査の実施
6. パブリックコメントの充実
7. 広報紙やホームページなどによる情報提供の機会の充実
8. わからない
9. その他（具体的に)

※パブリックコメントとは、政策等の意思形成過程において、その案等を公表し、広く市民の意見・情報を求め、寄せられた意見などを考慮して意思決定を行うものです。

→ 問27へ

【行政改革】

問27 あなたは、効果的かつ効率的な行政サービスを提供するためには、どのような方策が必要だと考えますか。あてはまるもののうち上位2つまでお答えください。

1. 事業を見直し、必要に応じて統合あるいは廃止する
2. 市民ニーズに合わせて市役所の組織をつくり直す
3. 市職員の意識改革や能力開発のための研修を行う
4. 市内の各種団体を対象に出される補助金を、必要に応じ統合あるいは廃止する
5. サービスにより利益を受ける市民に適切な費用を負担してもらう
6. 施設の統合・廃止や他施設との複合化を図る
7. 必要に応じ業務を民間委託する
8. 市の職員数を見直す
9. 市職員の給与水準を見直す
10. わからない
11. その他（具体的に)

→ 問28へ

暮らしの満足度と今後の重要度についておうかがいします

問28 市が実施している取り組みやサービスについて、現在の「満足度」と今後の「重要度」をお聞かせください。次の(1)～(37)の各項目について、あなたの考えに近いものを「満足度」と「重要度」の中からそれぞれ1つずつお答えください。

	現在の満足度						今後の重要度					
	1 満足	2 どちらかといえば満足	3 普通	4 どちらかといえば不満	5 不満	6 わからない	1 重要	2 どちらかといえば重要	3 現状のまま	4 どちらかといえば重要でない	5 重要でない	6 わからない
※ 記入例	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(1) 市民参加によるまちづくり (地域課題を解決するため、共に話し合い、活動している取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(2) 情報共有化の推進 (広報紙、市ホームページなどによる行政情報の提供など)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(3) 市民参加による防災対策 (防災体制づくりの自立的・持続的な取り組みや、安全で安心な取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(4) 防災と危機管理 (土砂災害や雨水浸水などに対応できる都市基盤、避難場所、防災情報の提供、自主防災組織の整備、広域自治体間協力など)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(5) 消防・救急体制の充実 (火災や地震災害等における消火・救急・救助活動確保のための人員体制及び車両・資機材の整備、また、応急手当の普及講習、消防団との連携など)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(6) 防犯対策の推進 (犯罪の不安を感じる事のない安全で安心な取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(7) 交通安全対策の推進 (交通安全意識が高まり、交通事故に遭わない、交通事故が起きない取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

	現在の満足度						今後の重要度					
	1 満足	2 どちらかといえば満足	3 普通	4 どちらかといえば不満	5 不満	6 わからない	1 重要	2 どちらかといえば重要	3 現状のまま	4 どちらかといえば重要でない	5 重要でない	6 わからない
(8) 人権尊重社会の実現 (人権に関する学習会や人権相談など、一人ひとりが互いにこの人権を尊重し合う取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(9) 男女共同参画の推進 (性別にとらわれず、それぞれのライフスタイルや価値観を尊重し合う取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(10) 健康づくりの推進 (ライフステージに応じた健康づくり事業、母子保健事業・介護予防事業など)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(11) 地域医療体制の確保 (尾鷲総合病院の診療体制や設備、地域内の医院・診療所など)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(12) 高齢者保健福祉の推進 (いつまでも元気に社会のなかで活躍し、介護が必要となっても住み慣れた地域で暮らすことができる取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(13) 障がい者福祉の推進 (自立支援などの福祉サービスにより、住み慣れた地域で暮らせる取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(14) 社会保障の確保 (安心して生活ができる、社会保障制度が健全に運営される取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

	現在の満足度						今後の重要度					
	1 満足	2 どちらかといえば満足	3 普通	4 どちらかといえば不満	5 不満	6 わからない	1 重要	2 どちらかといえば重要	3 現状のまま	4 どちらかといえば重要でない	5 重要でない	6 わからない
(15) 市民相談窓口の確保 (必要なときに適切な相談を受けることができる取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(16) 生活保障の確保 (必要なときに適切な支援を受けることができる取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(17) 農業・関連産業の振興 (さまざまな形態の農業活動が行われ、農地の保全・管理、活用がされる取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(18) 林業・関連産業の振興 (経営基盤が強化され、施業を継続的に実施できる取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(19) 水産業・関連産業の振興 (水揚げ量の拡大、生産体系の見直しや生産性及び付加価値の向上により、水産業が持続できる取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(20) 商工観光業の振興 (活発な産業活動により、魅力ある雇用の場が創出される取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(21) 子育て支援の推進 (保育サービス、子育てに関する相談体制や情報提供、放課後の子どもの安全な活動場所などの環境づくりなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

	現在の満足度						今後の重要度					
	1 満足	2 どちらかといえば満足	3 普通	4 どちらかといえば不満	5 不満	6 わからない	1 重要	2 どちらかといえば重要	3 現状のまま	4 どちらかといえば重要でない	5 重要でない	6 わからない
(2 2) 未就学児への支援 (未就学児が健やかに成長できる取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(2 3) 学校教育の充実 (一人ひとりの個性や能力を伸ばし、確かな学力、豊かな心、健康な体づくりにより、笑顔いっぱいの子どもを育む取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(2 4) 生涯教育の推進 (文化・生涯学習を行うための設備の管理、その指導者の育成支援など)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(2 5) 生涯スポーツの推進 (年齢、体力、好みに応じて多くのスポーツに触れ、楽しくスポーツが親しめる取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(2 6) 国際交流の推進 (多様な交流ができ、国際感覚豊かな人づくりがされる取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(2 7) 森林の公益的機能の保全 (適正に管理・保全され、森林の公益的機能が確保される取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(2 8) 鳥獣害対策の推進 (野生鳥獣との共生を図り、鳥獣害が発生しない取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

	現在の満足度						今後の重要度					
	1 満足	2 どちらかといえば満足	3 普通	4 どちらかといえば不満	5 不満	6 わからない	1 重要	2 どちらかといえば重要	3 現状のまま	4 どちらかといえば重要でない	5 重要でない	6 わからない
(29) 自然環境の保全 (自然環境や生態系に配慮し、良好な自然が残る取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(30) 資源循環型社会の推進 (ごみの発生抑制・再使用・再生利用が進んだ、環境に負荷をかけない取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(31) 良好な生活環境の保全 (環境負荷を低減し、快適な生活が営める取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(32) 安全・安心な水の確保 (安全で安心な水が安定供給される取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(33) 都市づくりの推進 (安心して暮らせる都市基盤が整備される取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(34) 災害に強い都市施設の推進 (災害に強い都市施設により、安心して快適に暮らせる取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(35) 公共交通の確保 (安全で利便性が高く、環境にやさしい公共交通により快適に暮らし、移動ができる取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

